7章 子どものICT利用

本章では、調査対象を小中学生やその保護者としている

1節 子どものICT端末所有状況

子どもが利用・所有している端末

ポイント

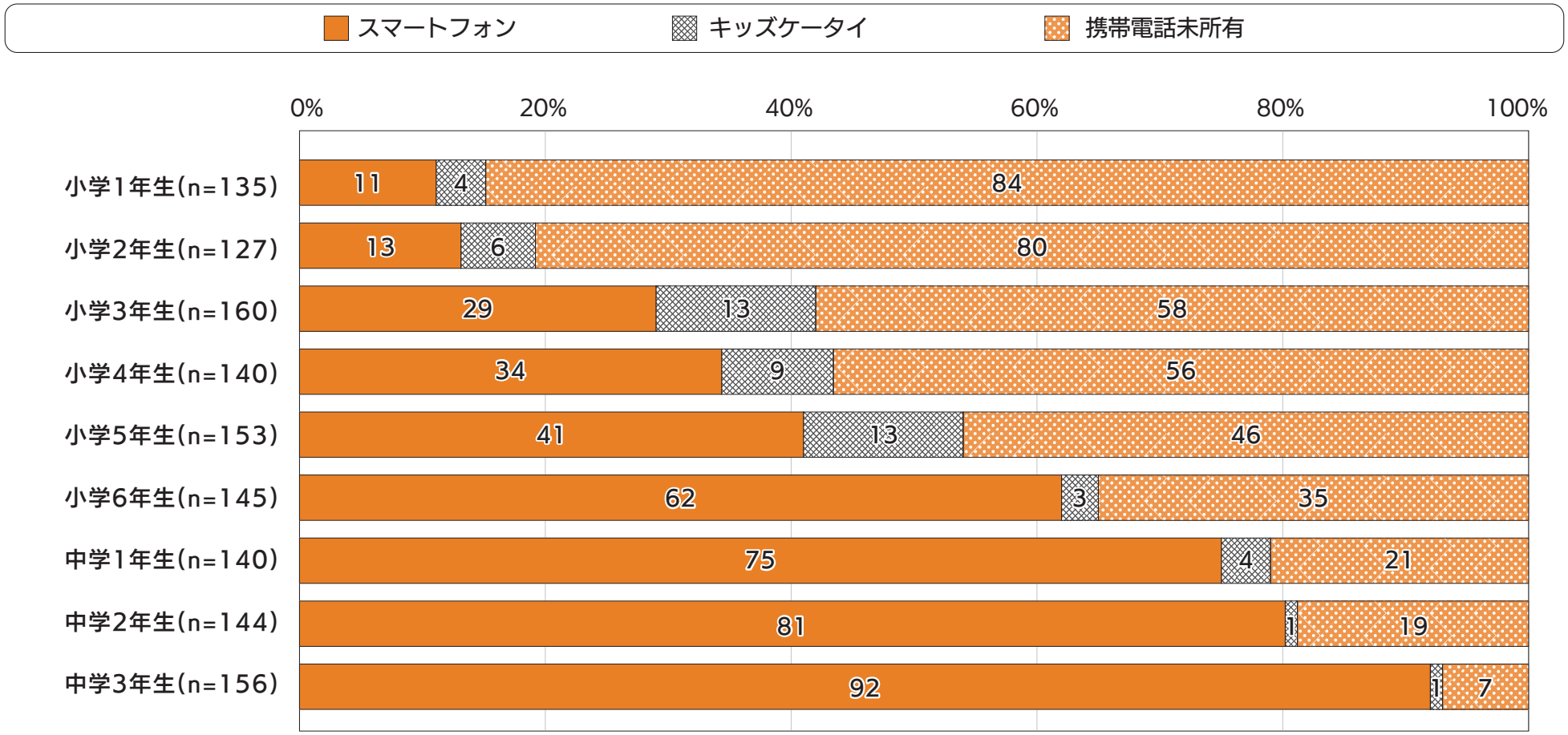
- 自分専用の端末としてのスマートフォン所有率は中学3年生で9割を超える（資料7-1）。
- 利用している端末は中学1年まではタブレットがトップ、中学2年でスマートフォンがタブレットを抜く（資料7-3）。
- スマートフォン所有開始年齢　地域別は関西が最も早く9.8歳（資料7-8）。

[資料7-1] 自分専用の端末として子どもが所有している携帯電話の種類[学年別]（単一回答） …… 184
[資料7-2] 利用している携帯電話の種類[学年別]（単一回答）…… 185
[資料7-3] 利用している端末の種類[学年別]（複数回答）…… 186
[資料7-4] 所有している携帯電話の種類[地域別]（複数回答） …… 187
[資料7-5] 所有している携帯電話の種類の年次推移[学年別]（複数回答） …… 188
[資料7-6] 利用している携帯電話の種類[地域別]（複数回答） …… 189
[資料7-7] 利用している携帯電話の種類の年次推移[学年別]（複数回答） …… 190
[資料7-8] スマートフォン所有開始年齢[地域別]（複数回答）…… 191
[資料7-9] スマートフォンの所有開始年齢[性別]（単一回答） …… 192
[資料7-10] スマートフォン使い始め理由[性別]（複数回答） …… 193
[資料7-11] インターネット利用時間[学年別]（複数回答） …… 194

[資料7-1]

自分専用の端末として子どもが所有している携帯電話の種類[学年別](単一回答)

● スマートフォン所有率は中学生では7割を超え、中学3年では約9割を超える。

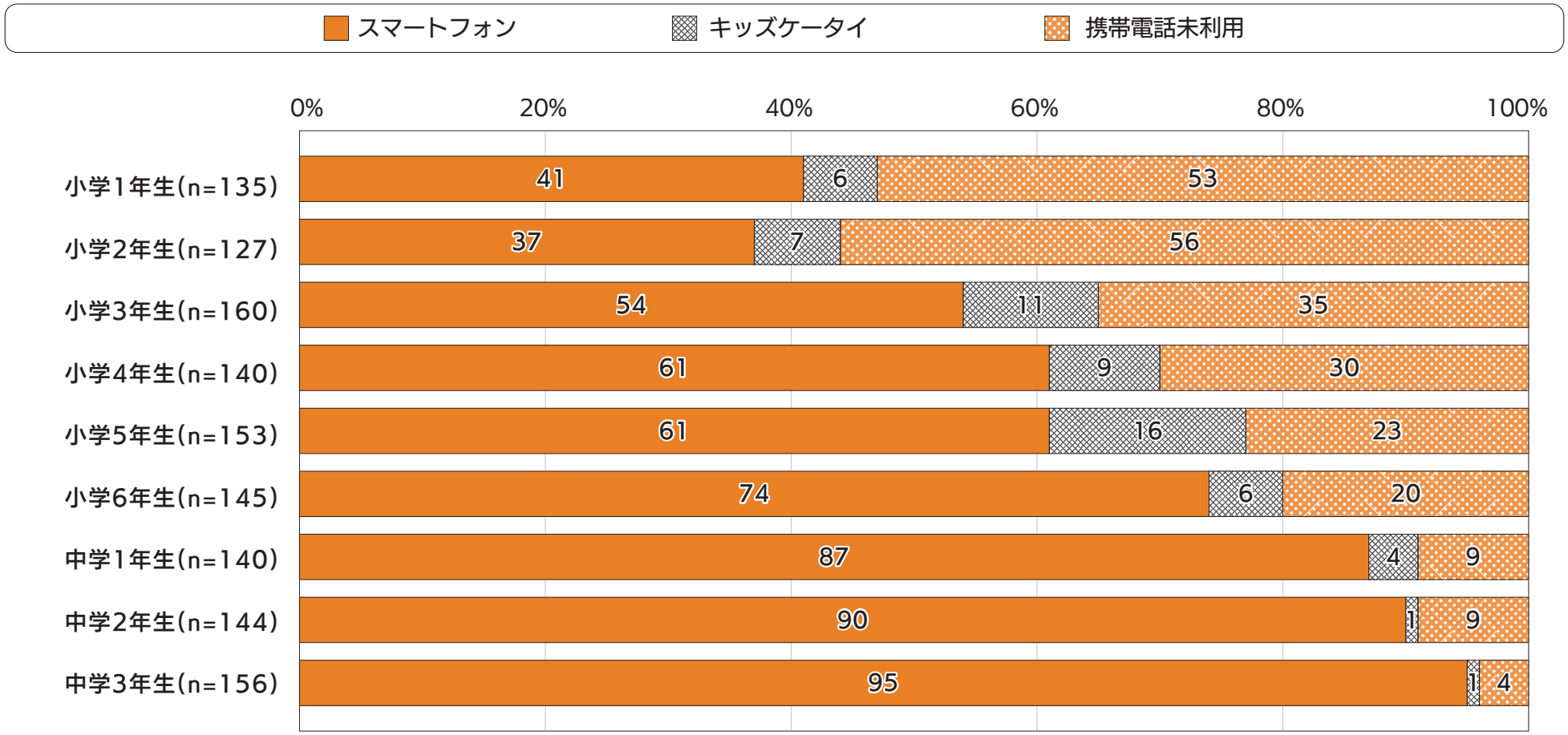


注1：小中学生の保護者が回答。
注2：「スマートフォン」はキッズスマホ、iPhone、Android スマートフォンを集計。
注3：「キッズケータイ」はフィーチャーフォンを含め集計。
注4：「スマートフォン」と「キッズケータイ」をどちらも所有している場合は、スマートフォン所有として集計。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-2]

利用している携帯電話の種類[学年別]（単一回答）

- スマートフォン、キッズケータイ利用は小学生低学年で4割を超え、3年では6割を超える。
- スマートフォン利用率は小学6年生で7割を超え、中学1年では約9割となる。

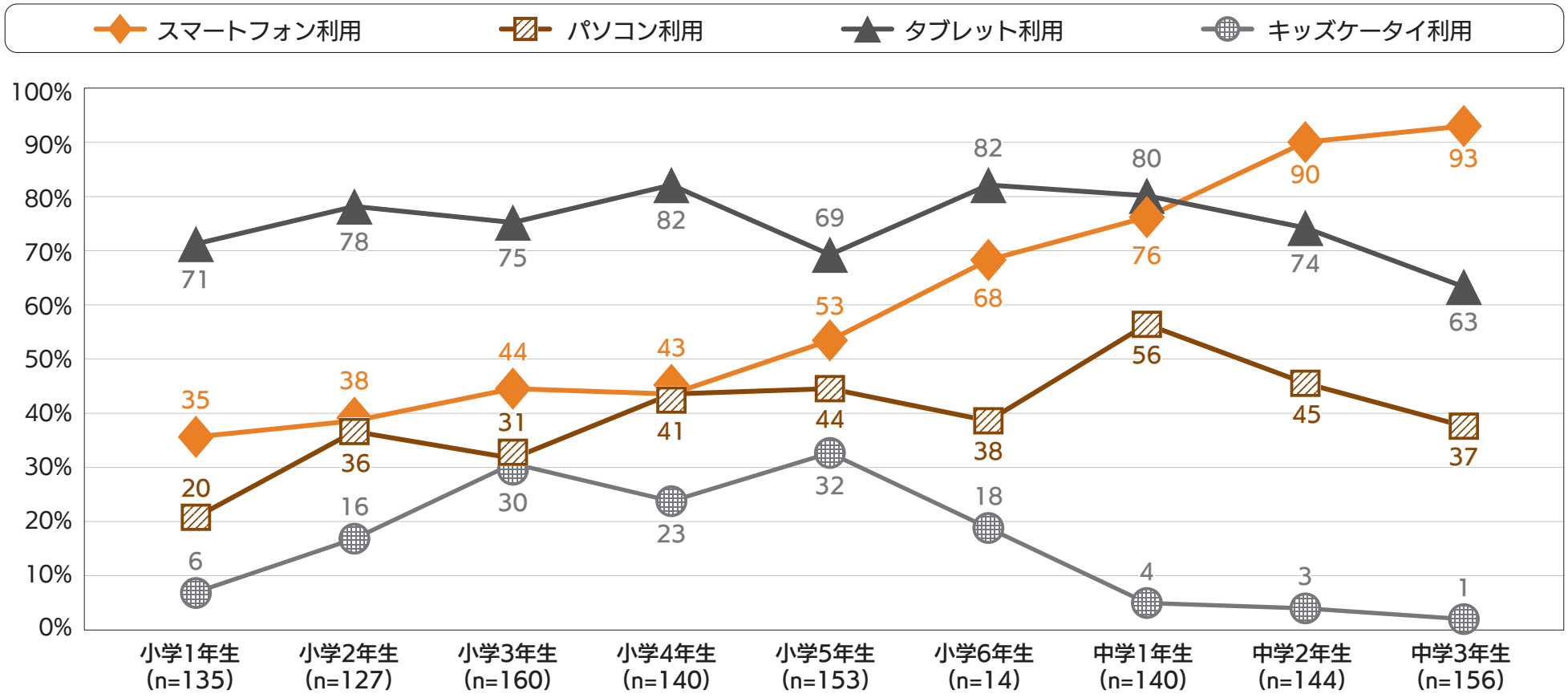


注１：家族などで共有しているものを含め、子どもが利用している機器の有無を小中学生の保護者が回答。
注２：「スマートフォン」はキッズスマホ、iPhone、Android スマートフォンを集計。
注３：「キッズケータイ」はフィーチャーフォンを含め集計。
注４：「スマートフォン」と「キッズケータイ」をどちらも利用している場合は、スマートフォン利用として集計。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-3]

利用している端末の種類[学年別]（複数回答）

- 中学1年まではタブレット利用が最も高く、7～8割。
- 中学2年以降はスマートフォン利用がタブレット利用を超える。

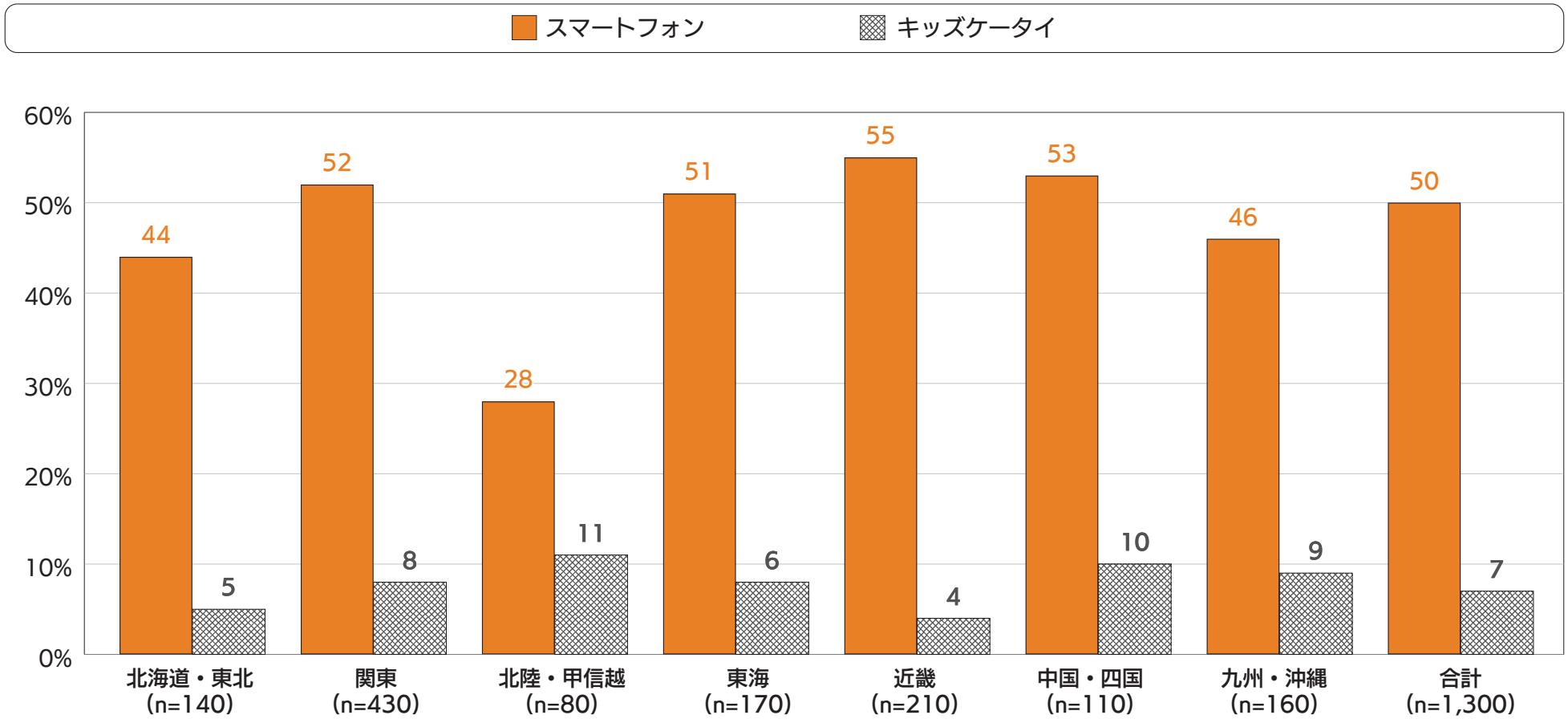


注１：小中学生の保護者が回答。
注２：「スマートフォン」はキッズスマホ、iPhone、Android スマートフォンを集計。
注３：「キッズケータイ」はフィーチャーフォンを含め集計。
注４：「スマートフォン」と「キッズケータイ」をどちらも所有している場合は、スマートフォン所有として集計。
注５：タブレット、パソコンは学校から貸与されたものを含んで集計。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-4]

所有している携帯電話の種類[地域別]（複数回答）

- 関東、東海、近畿、中国・四国はスマートフォンが5割を超える。
- 北陸・甲信越はスマートフォン所有率が最も低く約3割。
- キッズケータイ所有は全体で約1割。

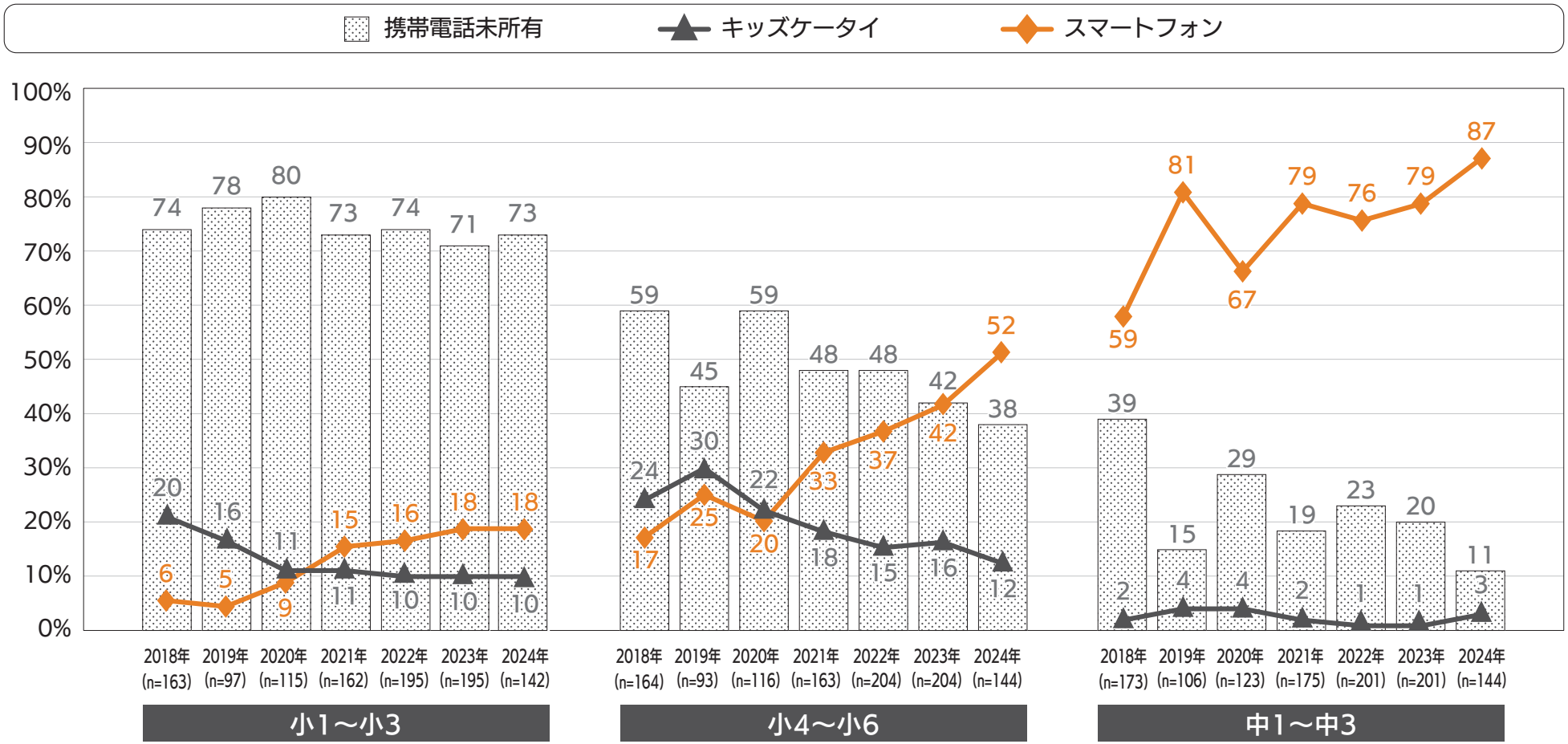


注1：小中学生の保護者が回答。
注2：タブレット、パソコンは学校から貸与されたものを含んで集計。
出典：2024年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-5]

所有している携帯電話の種類の年次推移[学年別]（複数回答）

- 2021年より小学生のスマートフォン所有率がキッズケータイ所有率を上回り、現在でも上昇傾向。
- 中学生の所有率が約9割となる。

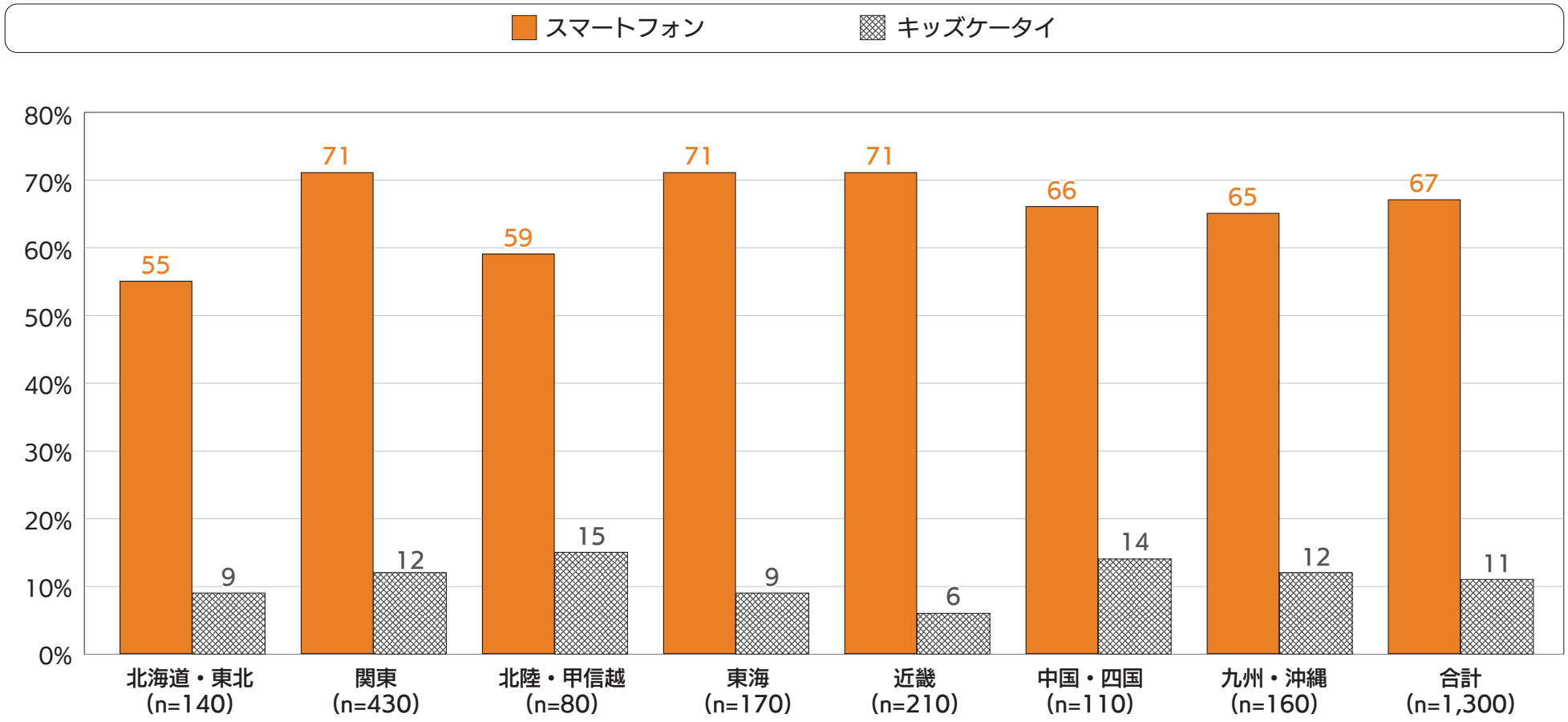


注１：関東の小中学生の子どもを持つ保護者が回答。
注２：子どもが所有している機器の有無を保護者が回答。
注３：「キッズケータイ」はフィーチャーフォンを含め集計。
注４：「スマートフォン」と「キッズケータイ」をどちらも所有している場合は、スマートフォン所有として集計。
出典：2018～2024年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-6]

利用している携帯電話の種類[地域別]（複数回答）

- 関東、東海、近畿、はスマートフォン利用が7割を超える。
- 北海道・東北は最も低く、55%。

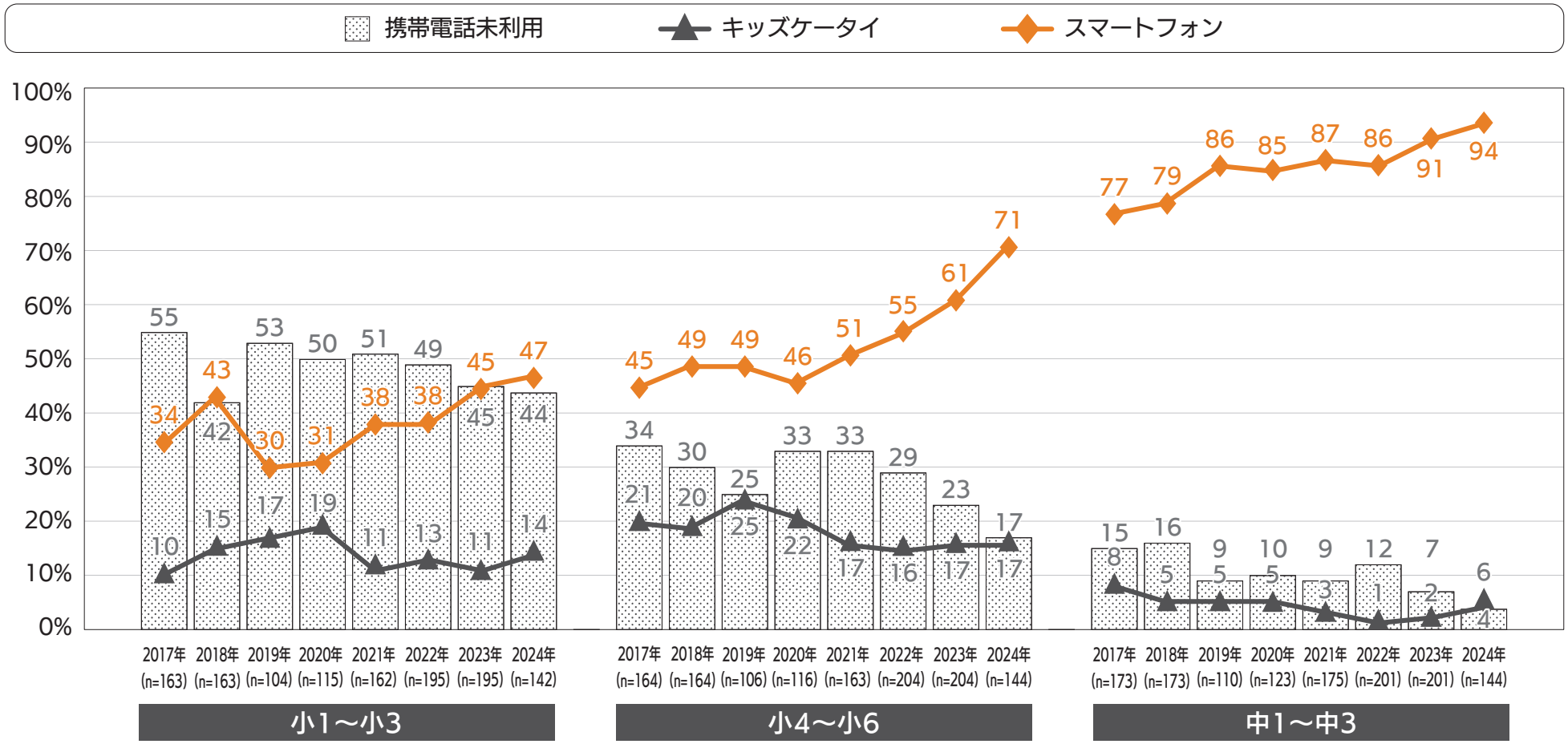


注１：小中学生の保護者が回答。
注２：利用率は家族などで共有しているものを含め、子どもが利用している機器の有無を集計。
注３：タブレット、パソコンは学校から貸与されたものを含んで集計。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-7]

利用している携帯電話の種類の年次推移[学年別]（複数回答）

● スマートフォンの利用率は全年代で上昇傾向。

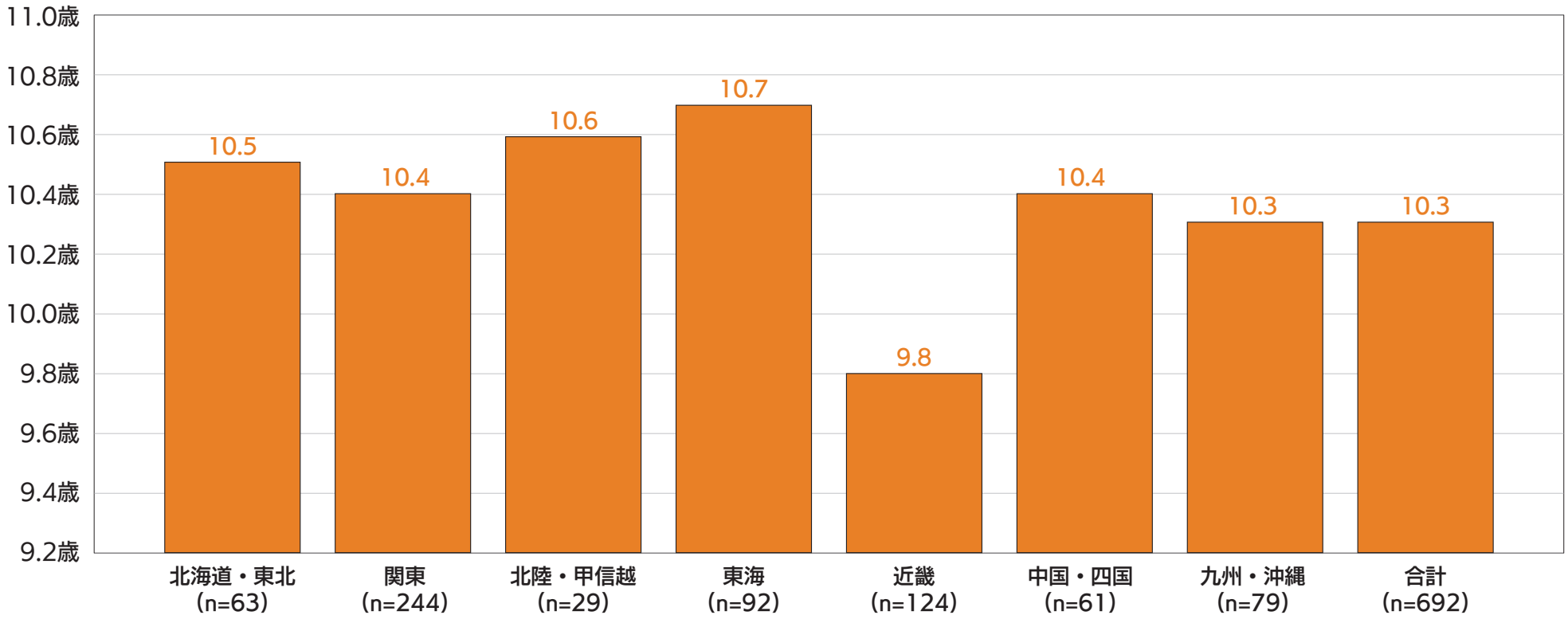


注１：関東の小中学生の子どもを持つ保護者が回答。
注２：家族などで共有しているものを含め、子どもが利用している機器の有無を保護者が回答。
注３：「キッズケータイ」はフィーチャーフォンを含め集計。
注４：「スマートフォン」と「キッズケータイ」をどちらも利用している場合は、スマートフォン利用として集計。
出典：2017 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問面接）、2018 ～ 2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-8]

スマートフォン所有開始年齢[地域別](複数回答)

● 地域別では近畿が所有開始が早く、9.8歳。

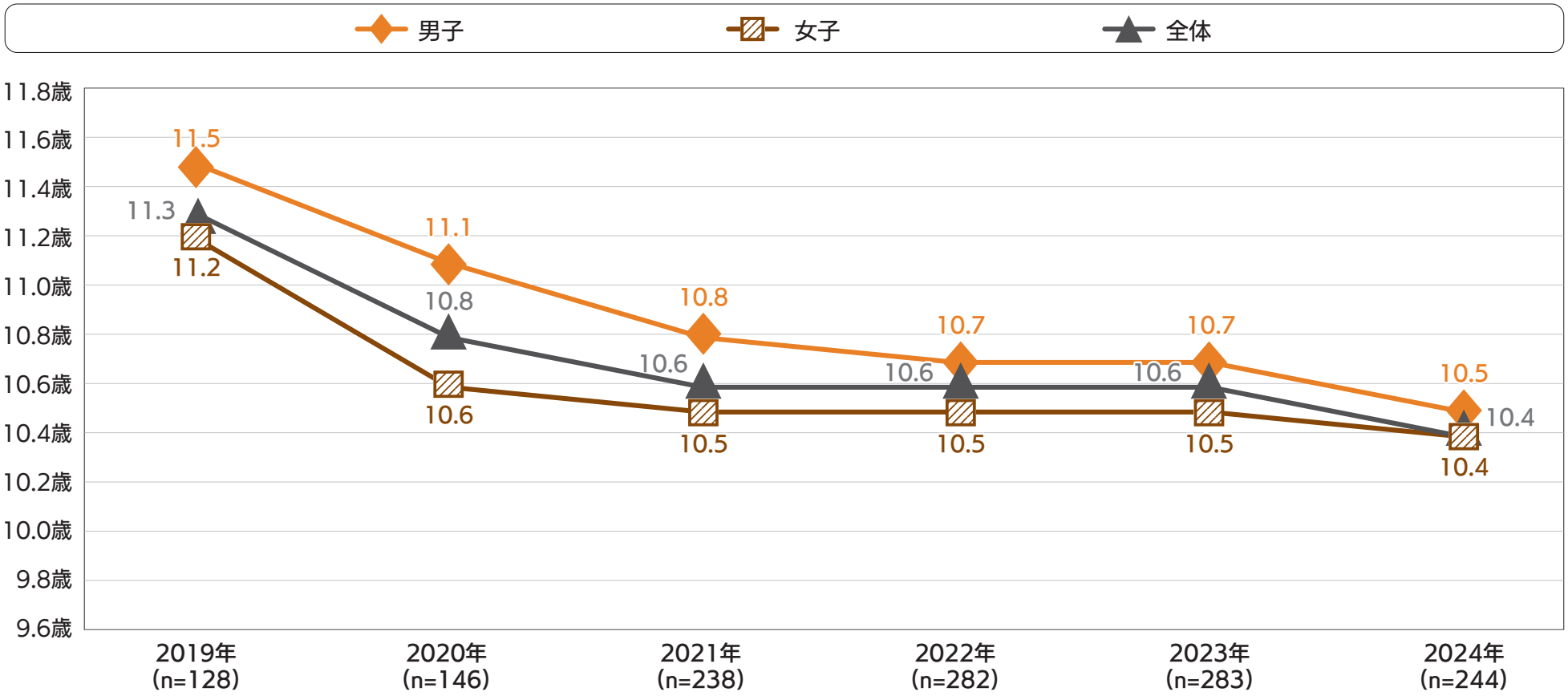


注 1：小中学生の保護者が回答。
注 2：左図の利用率は家族などで共有しているものを含め、子どもが利用している機器の有無を集計。
注 3：タブレット、パソコンは学校から貸与されたものを含んで集計。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-9]

スマートフォンの所有開始年齢[性別](単一回答)

● スマートフォンの所有開始年齢は全体平均で10.4歳に。

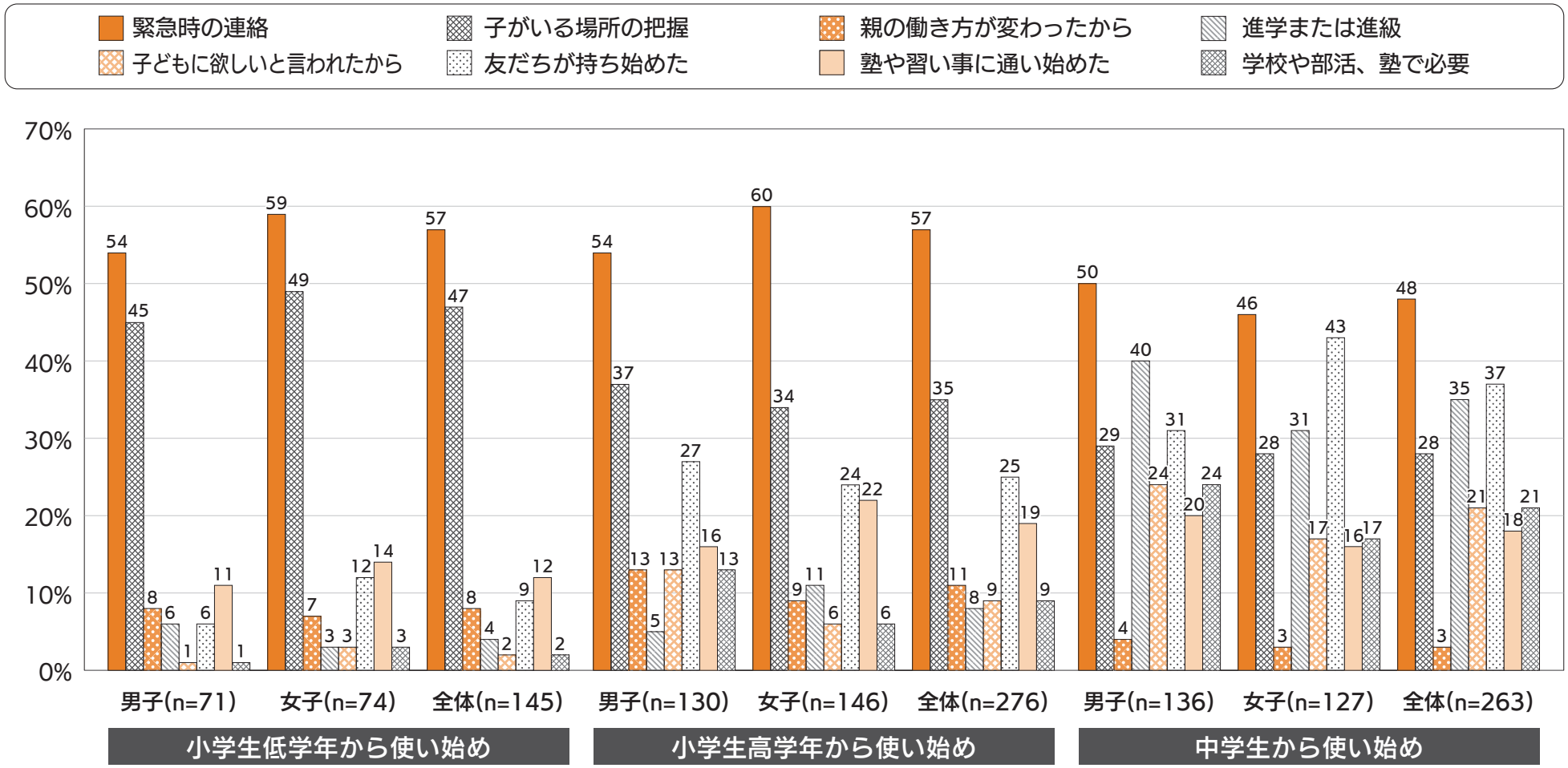


注 1：関東の小中学生の子どもを持つ保護者が回答。
注 2：子どもが所有している機器の有無を保護者が回答。
出典：2019 ～ 2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-10]

スマートフォン使い始め理由[性別]（複数回答）

- いずれも「緊急時の連絡」が最も高く約5割、小学生は「子がいる場所の把握」が第2位。
- 中学生女子は「緊急時の連絡」と「友だちが持ち始めた」が拮抗。

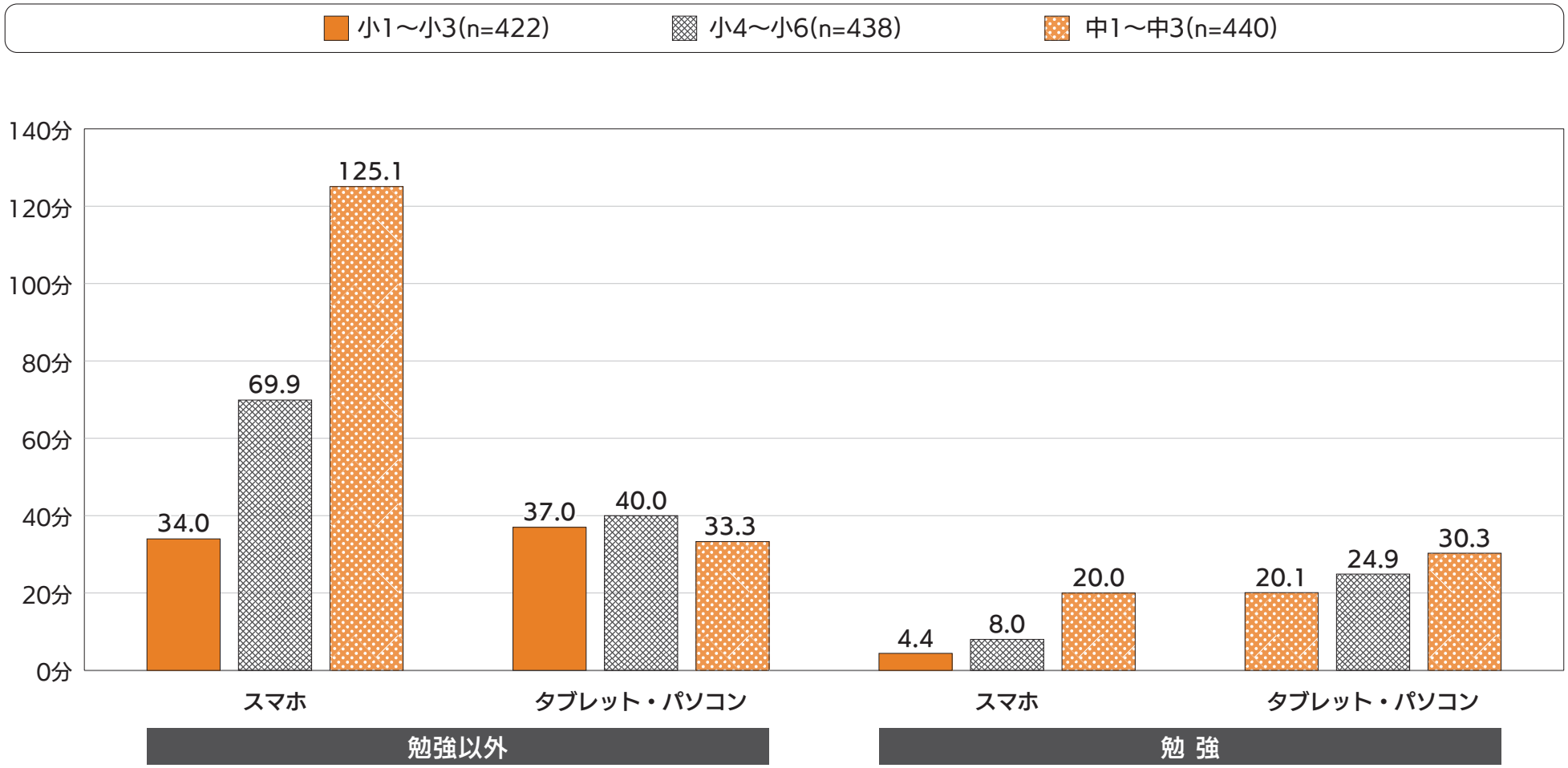


注：スマートフォンを持たせている保護者を集計。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-11]

インターネット利用時間[学年別](複数回答)

- 「勉強以外」は小学生高学年・中学生はスマートフォンがタブレット・パソコンを大きく上回る。
- 「勉強」では、どの学年でもタブレット・パソコンがスマートフォンを上回る。



注：小中学生自身が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

7章 子どものICT利用

本章では、調査対象を小中学生やその保護者としている

2節 子どものICTサービス利用状況

ICTサービス利用頻度、調べものでのICT利用頻度、文字入力スキル

ポイント

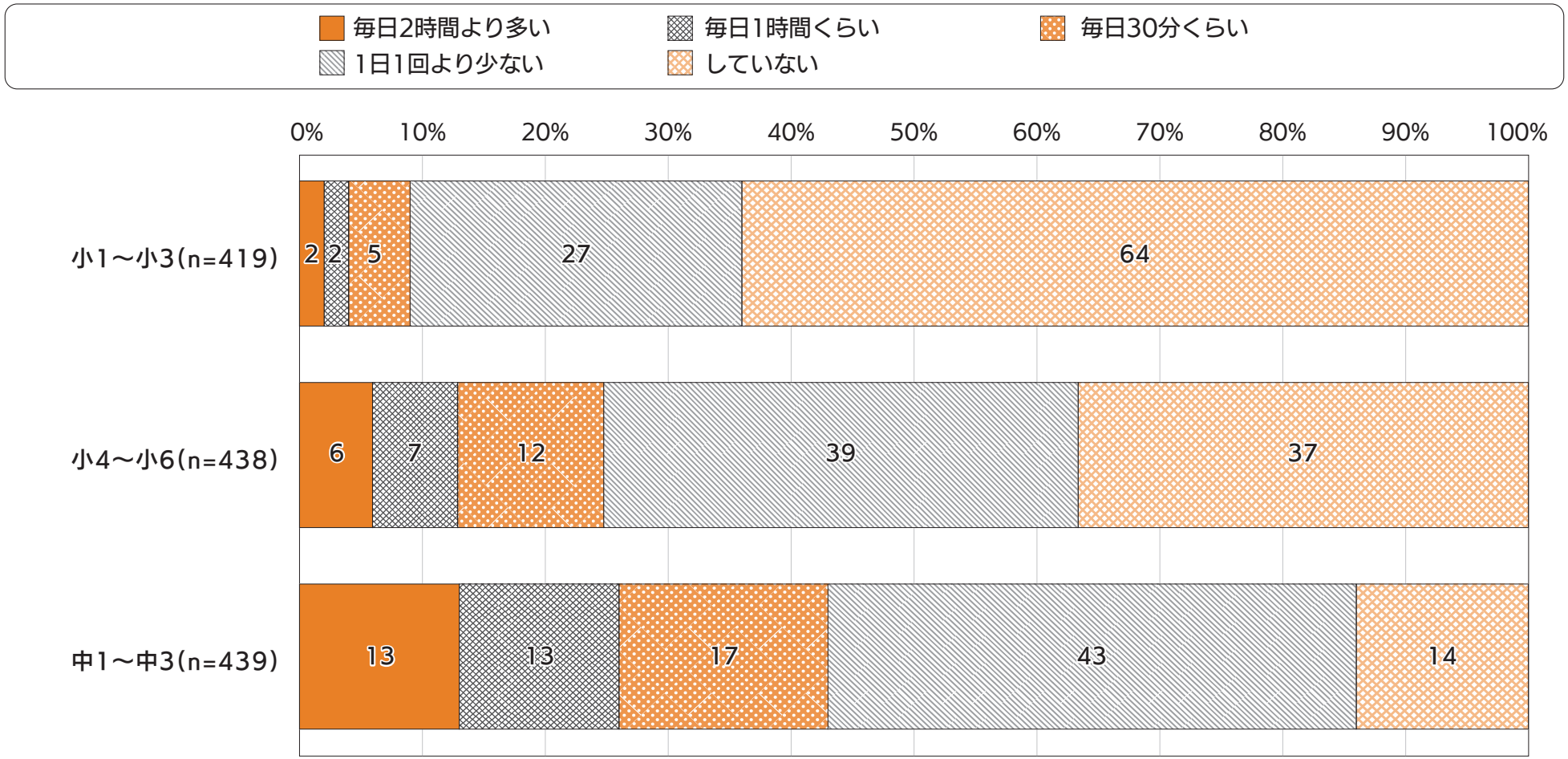
- SNS利用状況全国平均は約6割（資料7-17）。
- 毎日スマートフォンやタブレットでゲームを利用　中学生では約6割（資料7-20）。
- 普段の生活で疑問に思ったことについてインターネットで調べたり動画を見る　中学生では「毎日」が約3割（資料7-23）。

[資料7-12] 通話（LINE通話など通話アプリもあわせた通話時間）の利用頻度[学年別]（単一回答） …… 196
[資料7-13] YouTubeの利用頻度[学年別]（単一回答） …… 197
[資料7-14] テレビ番組の視聴頻度[学年別]（単一回答） …… 198
[資料7-15] ストリーミングサービスの利用頻度[学年別]（単一回答） …… 199
[資料7-16] SNSの利用状況[性・学年別]（複数回答） …… 200
[資料7-17] SNSの利用状況[地域別]（単一回答） …… 201
[資料7-18] SNSの利用状況の経年変化[学年別]（単一回答） …… 202
[資料7-19] SNSのサービス別利用状況年次変化[学年別]（複数回答） …… 203
[資料7-20] スマートフォンやタブレットでのゲームの利用頻度[学年別]（単一回答） …… 204
[資料7-21] 専用ゲーム機で遊ぶ時間[学年別]（単一回答） …… 205
[資料7-22] 学校や塾の宿題について、インターネットで調べたり動画を見る頻度[学年別]（単一回答） …… 206
[資料7-23] 普段の生活で疑問に思ったことについてインターネットで調べたり動画を見る頻度[学年別]（単一回答） …… 207
[資料7-24] 子どものICTスキル1[学年別]（単一回答） …… 208
[資料7-25] 子どものICTスキル2[学年別]（単一回答） …… 209
[資料7-26] パソコンでの文字入力年次変化[学年別]（単数回答） …… 210
[資料7-27] インターネット（検索、YouTube、オンラインゲーム、LINEなど）利用終了時間[学年別]（単一回答） …… 211

[資料7-12]

通話(LINE通話など通話アプリもあわせた通話時間)の利用頻度[学年別](単一回答)

● 小学生低学年は約1割、中学生では約4割が毎日通話をしている。

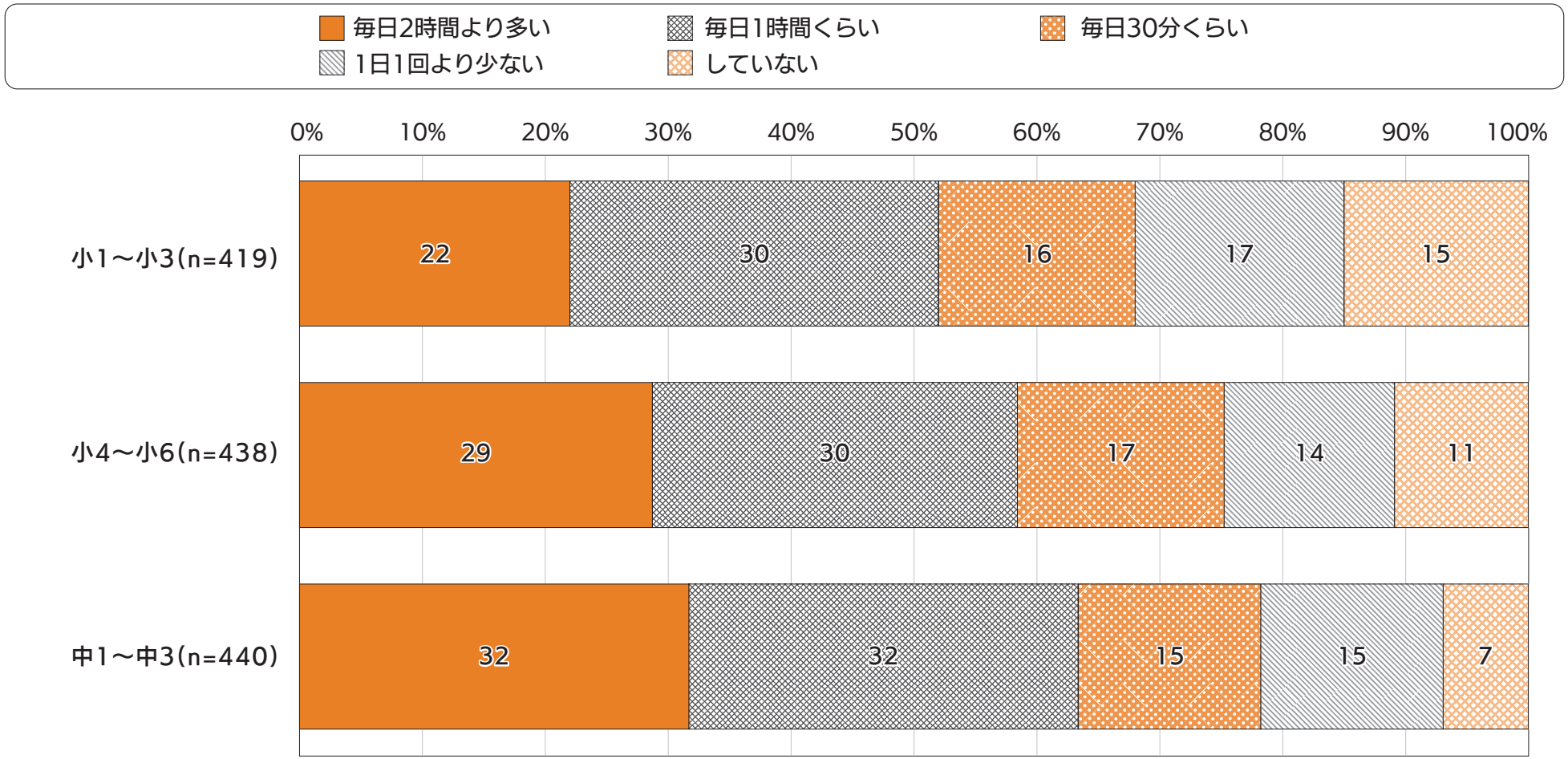


注：小中学生自身が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-13]

YouTubeの利用頻度[学年別](単一回答)

● 毎日YouTubeを利用している子どもは小学生は約7割、中学生は約8割。

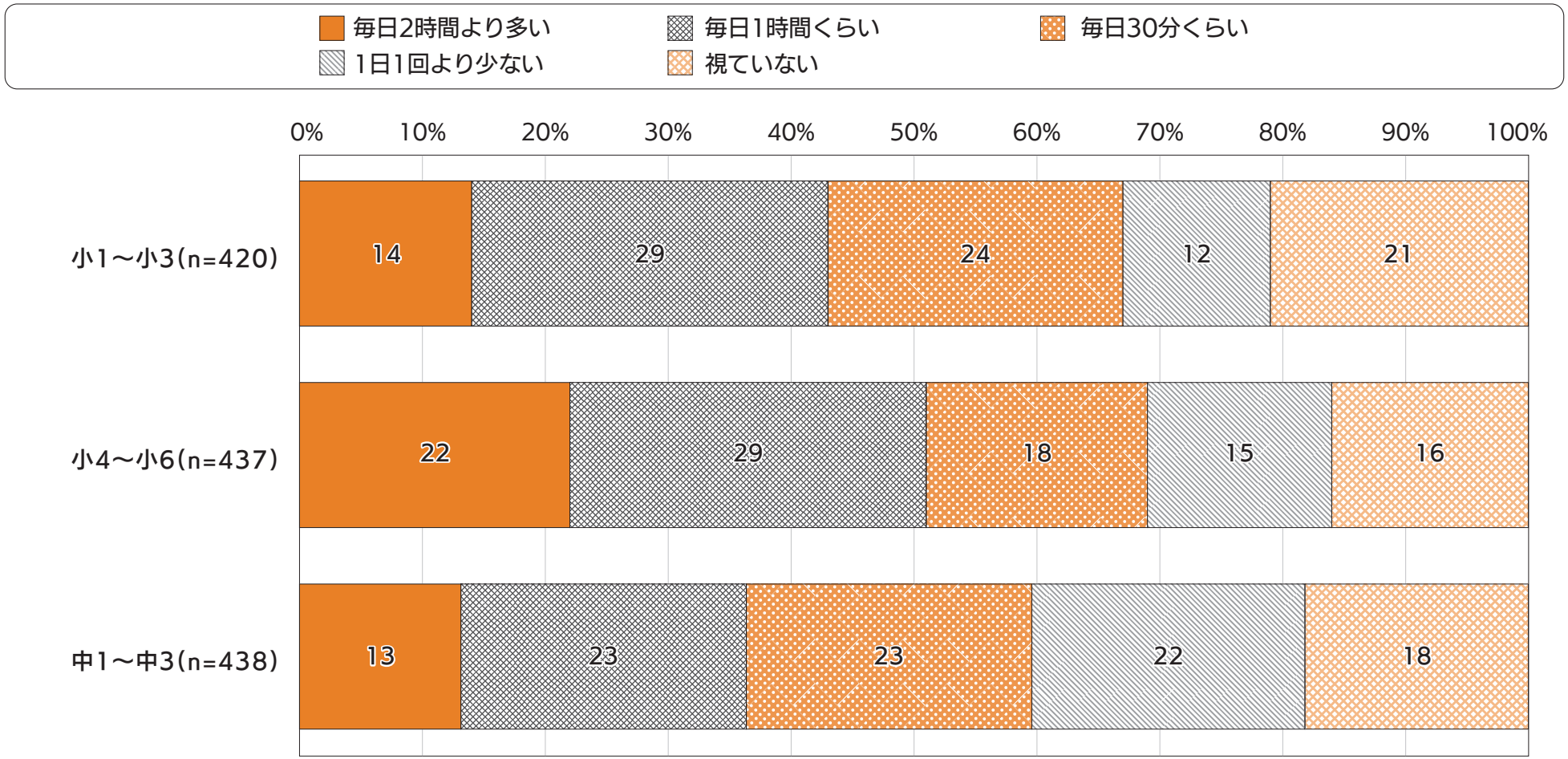


注：小中学生自身が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-14]

テレビ番組の視聴頻度[学年別]（単一回答）

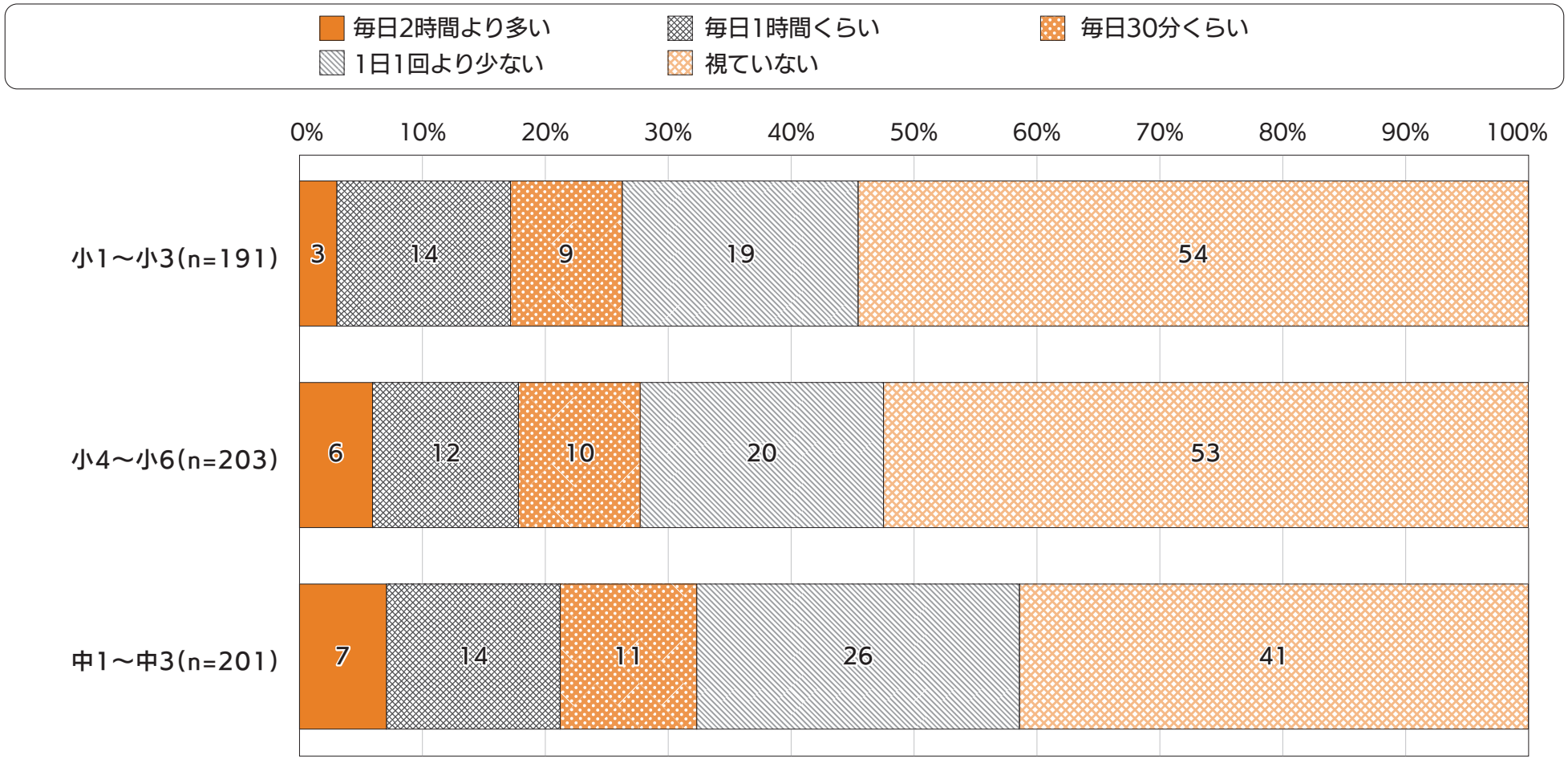
● どの学年も約2割がテレビを視ていない。



注：小中学生自身が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-15] ストリーミングサービスの利用頻度[学年別](単一回答)

● 毎日ストリーミングサービス(Netflix・AmazonPrimeなど)を利用しているのは全学年約3割。

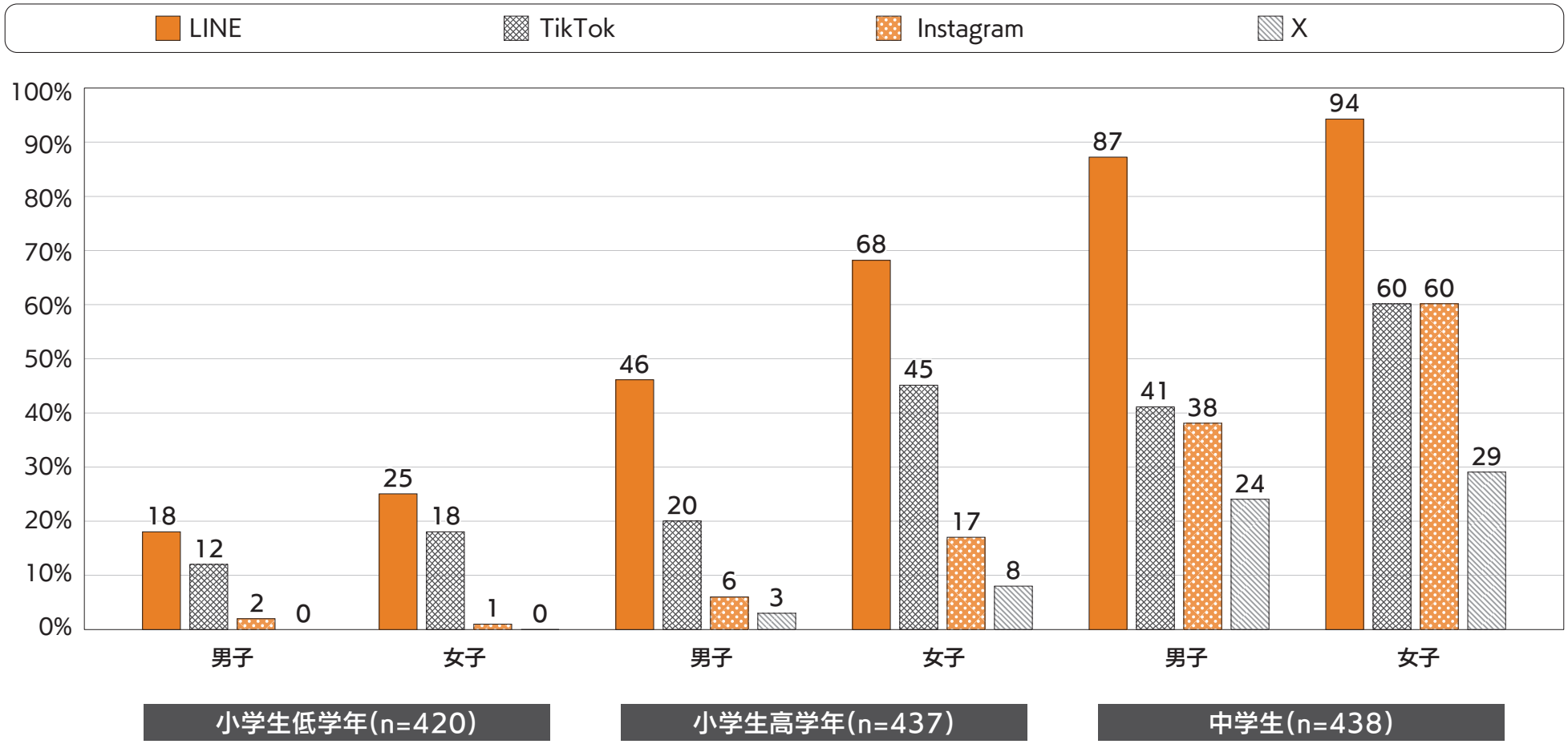


注：小中学生自身が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-16]

SNSの利用状況[性・学年別](複数回答)

- 中学生になると約9割がSNSを利用。
- 各SNS全学年で、女子のほうが男子より利用率が高い。

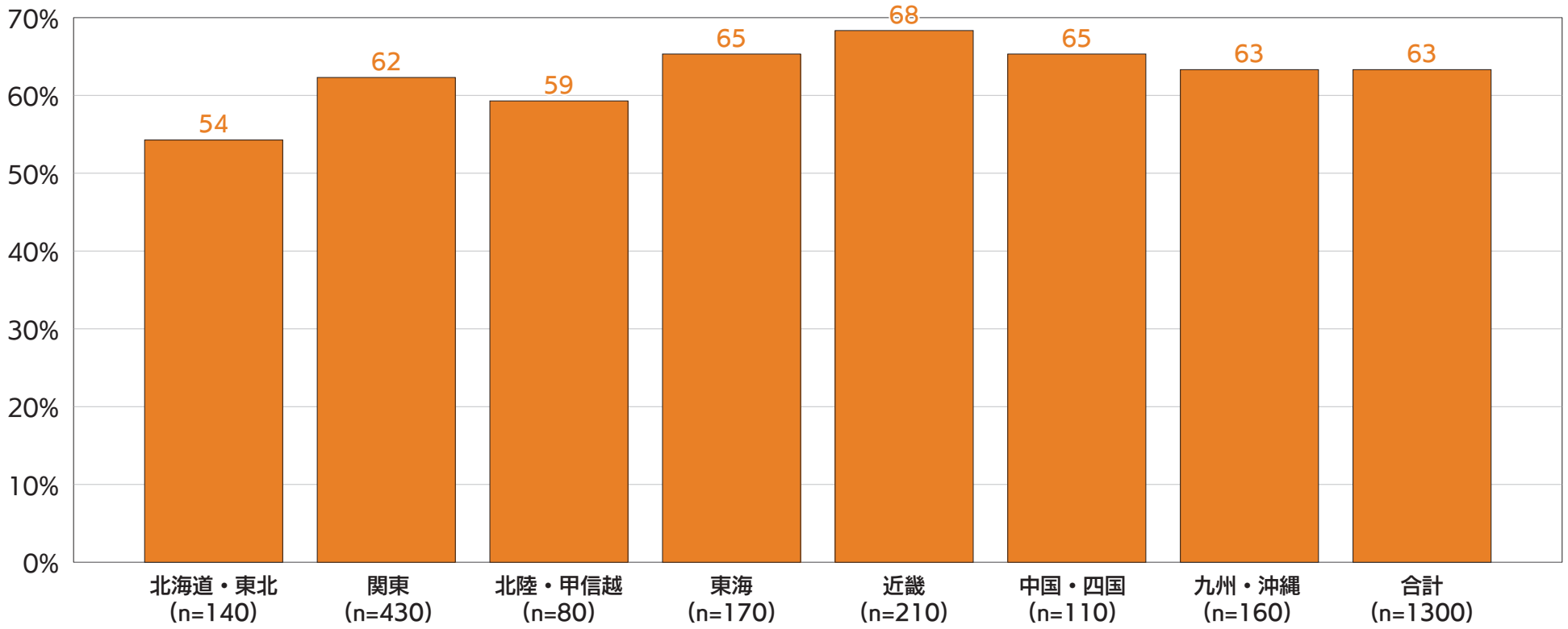


注：小中学生自身が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-17]

SNSの利用状況[地域別](単一回答)

- おおむね約6割だが、近畿が最も高く、約7割。
- 北海道・東北は約5割。

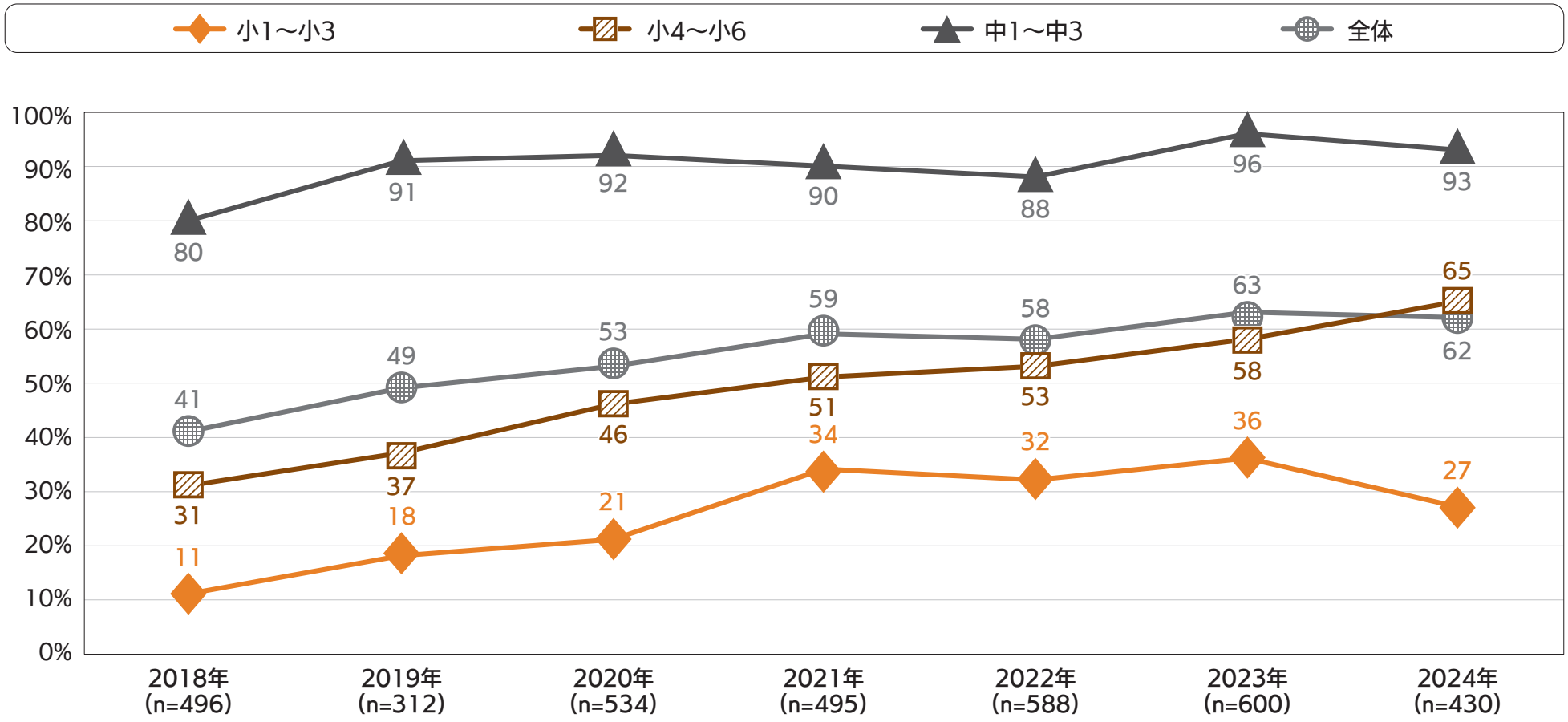


注1：小中学生自身が回答。
注2：SNSは「LINE」「X」「Instagram」「TikTok」。
出典：2024年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-18]

SNSの利用状況の経年変化[学年別](単一回答)

● 小学生高学年が上昇傾向。

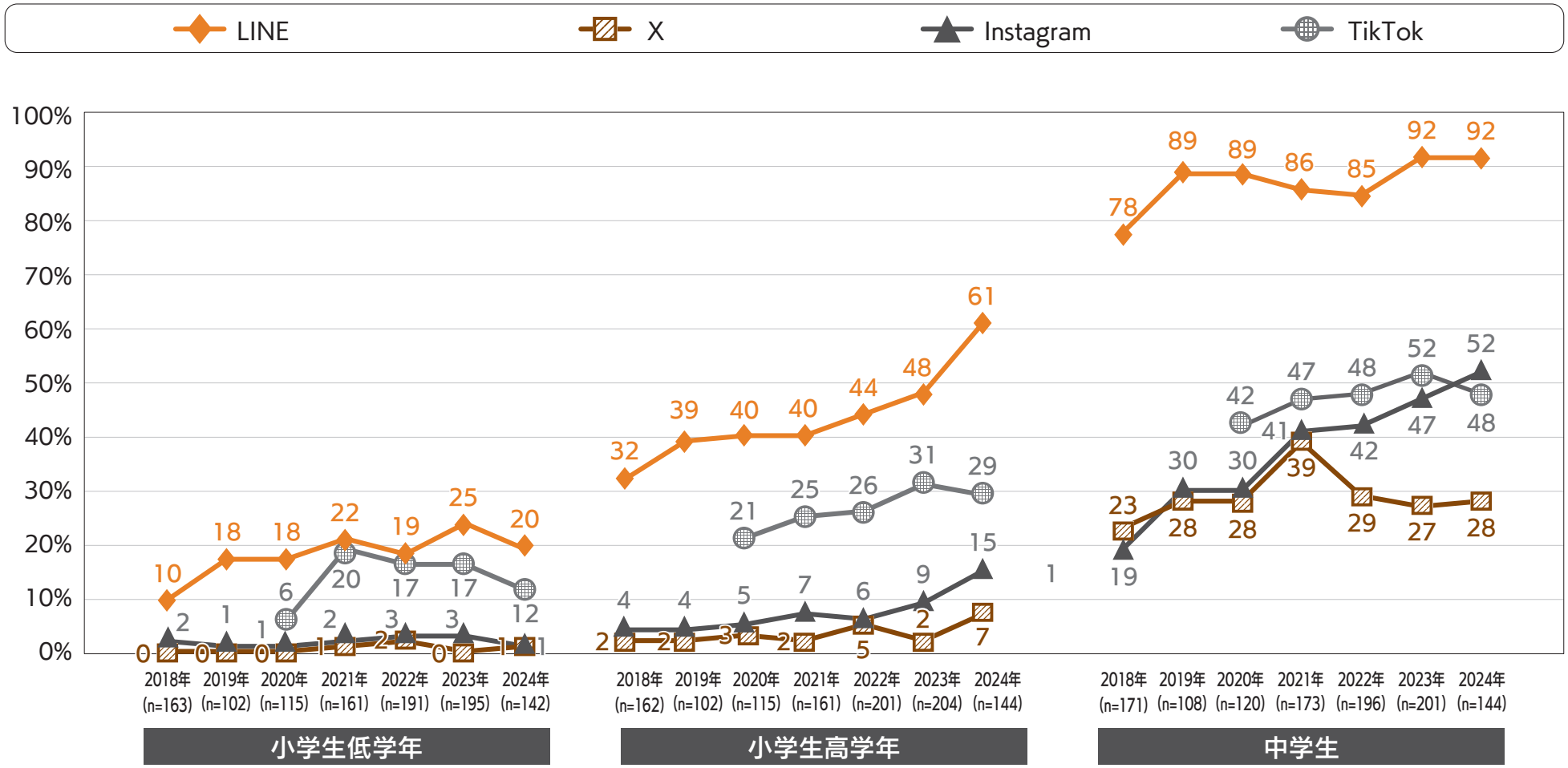


注 1：関東の小中学生自身が回答。
注 2：SNS は「LINE」「X」「Instagram」「TikTok」。
出典：2018 ～ 2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-19]

SNSのサービス別利用状況年次変化[学年別](複数回答)

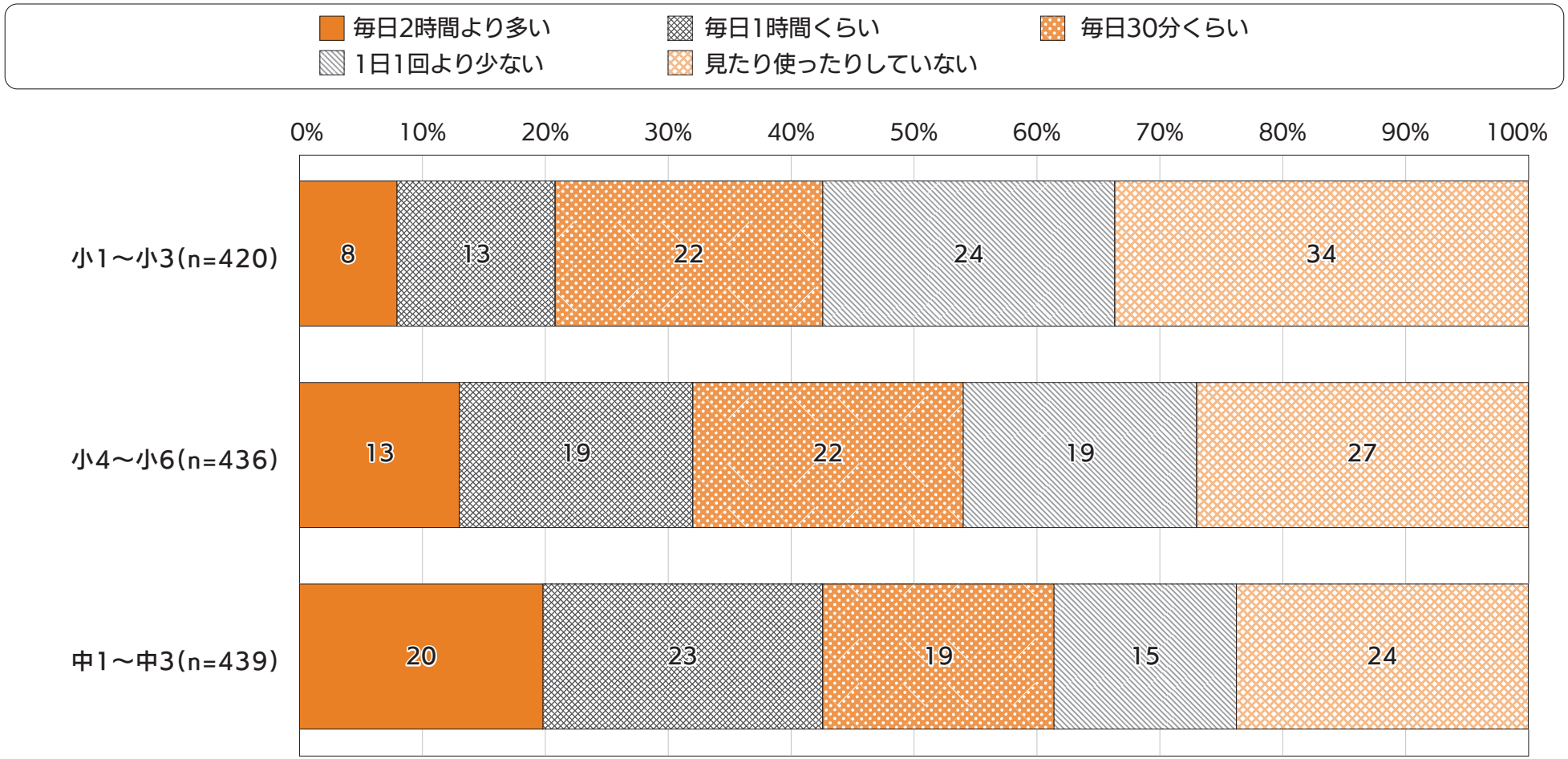
- 「LINE」は小学生高学年は上昇、小学生低学年・中学生は横ばい。
- 「X」「TikTok」は全学年で横ばい傾向。
- 「Instagram」は小学生高学年、中学生が上昇。



注：関東の小中学生自身が回答。
出典：2018～2024年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-20] スマートフォンやタブレットでのゲームの利用頻度[学年別]（単一回答）

● 毎日スマートフォンやタブレットでのゲームをする子どもは小学生低学年で4割、高学年で5割を超え、中学生では6割を超える。

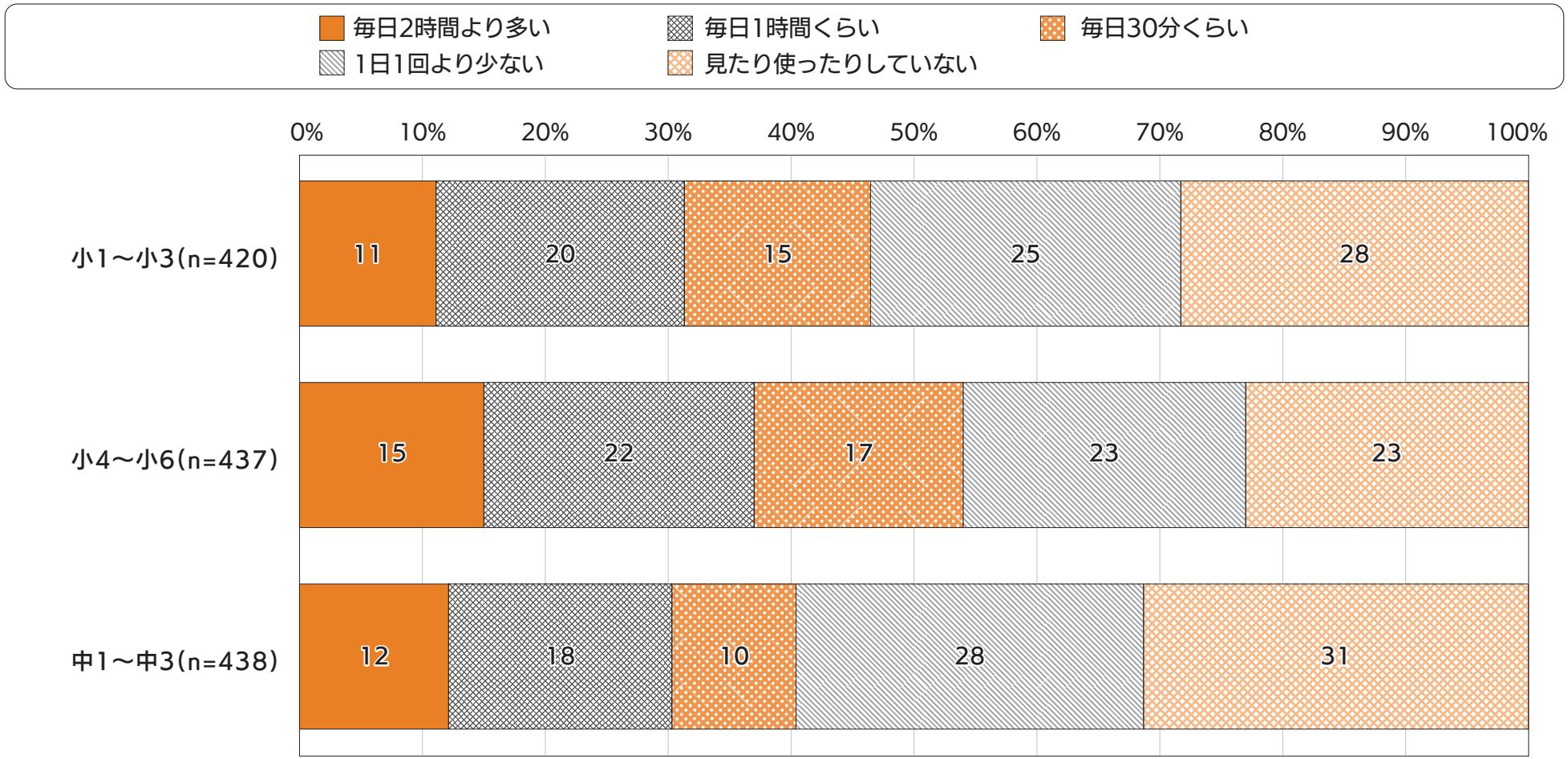


注：小中学生自身が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-21]

専用ゲーム機で遊ぶ時間[学年別](単一回答)

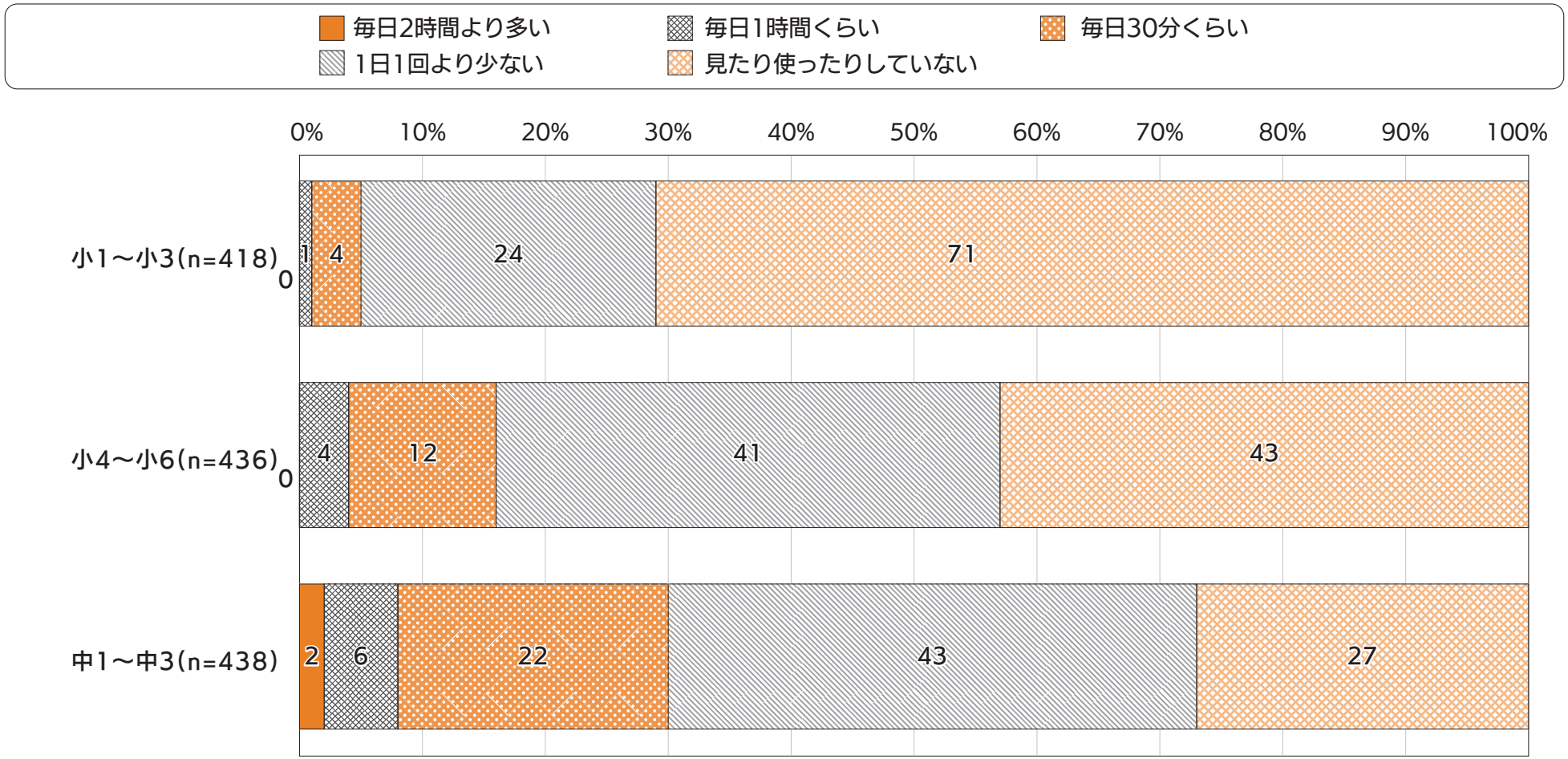
● 毎日専用ゲーム機で遊ぶのは、小学生が約5割、中学生は約4割。



注：小中学生自身が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-22] 学校や塾の宿題について、インターネットで調べたり動画を見る頻度[学年別](単一回答)

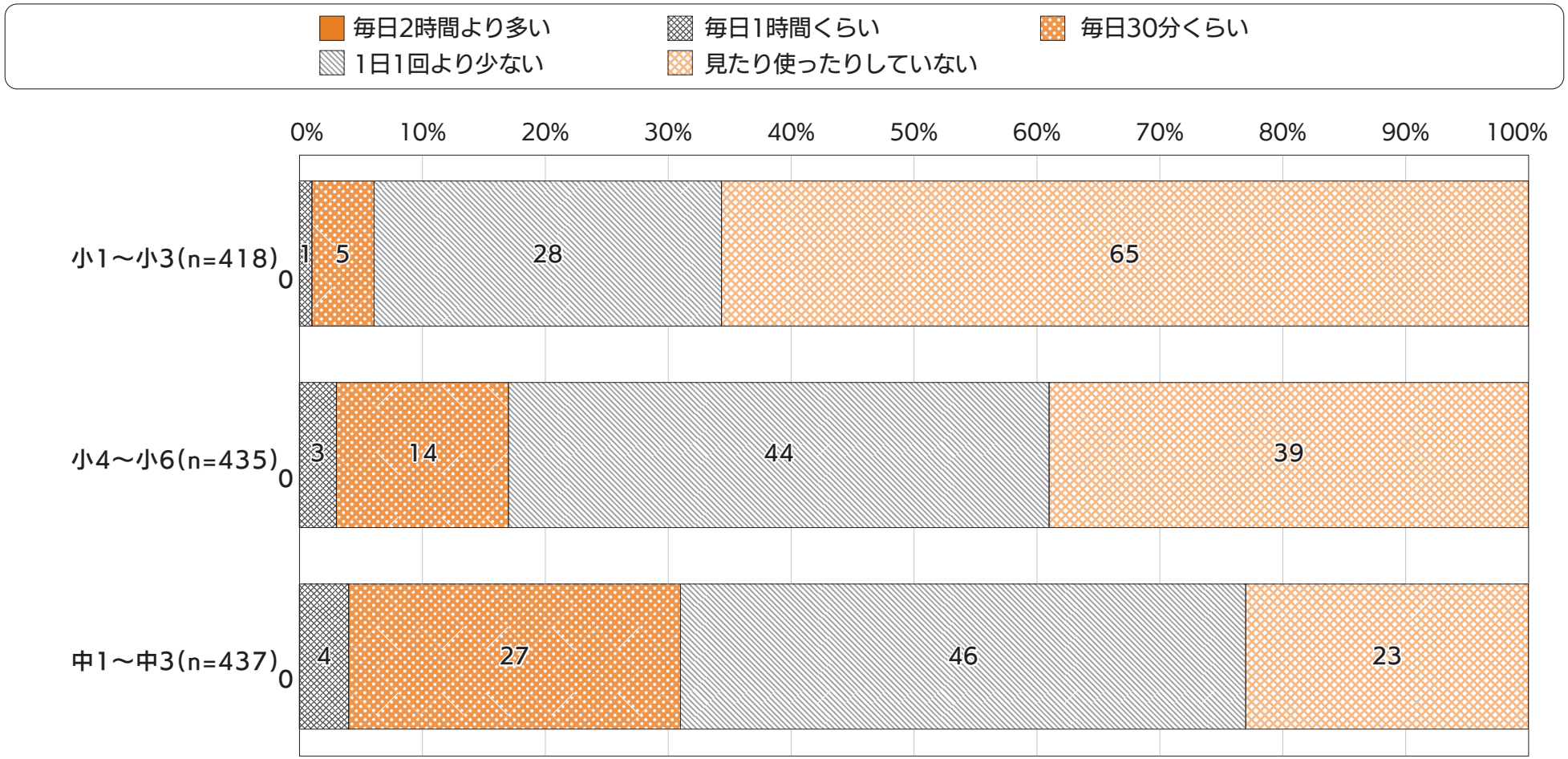
● 毎日学校や塾の宿題についてインターネットで調べたり動画を見たりする子どもは小学生高学年約2割、中学生で3割。



注：小中学生自身が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-23] 普段の生活で疑問に思ったことについてインターネットで調べたり動画を見る頻度[学年別](単一回答)

● 小学生高学年は約2割、中学生になると、約3割が毎日利用している。

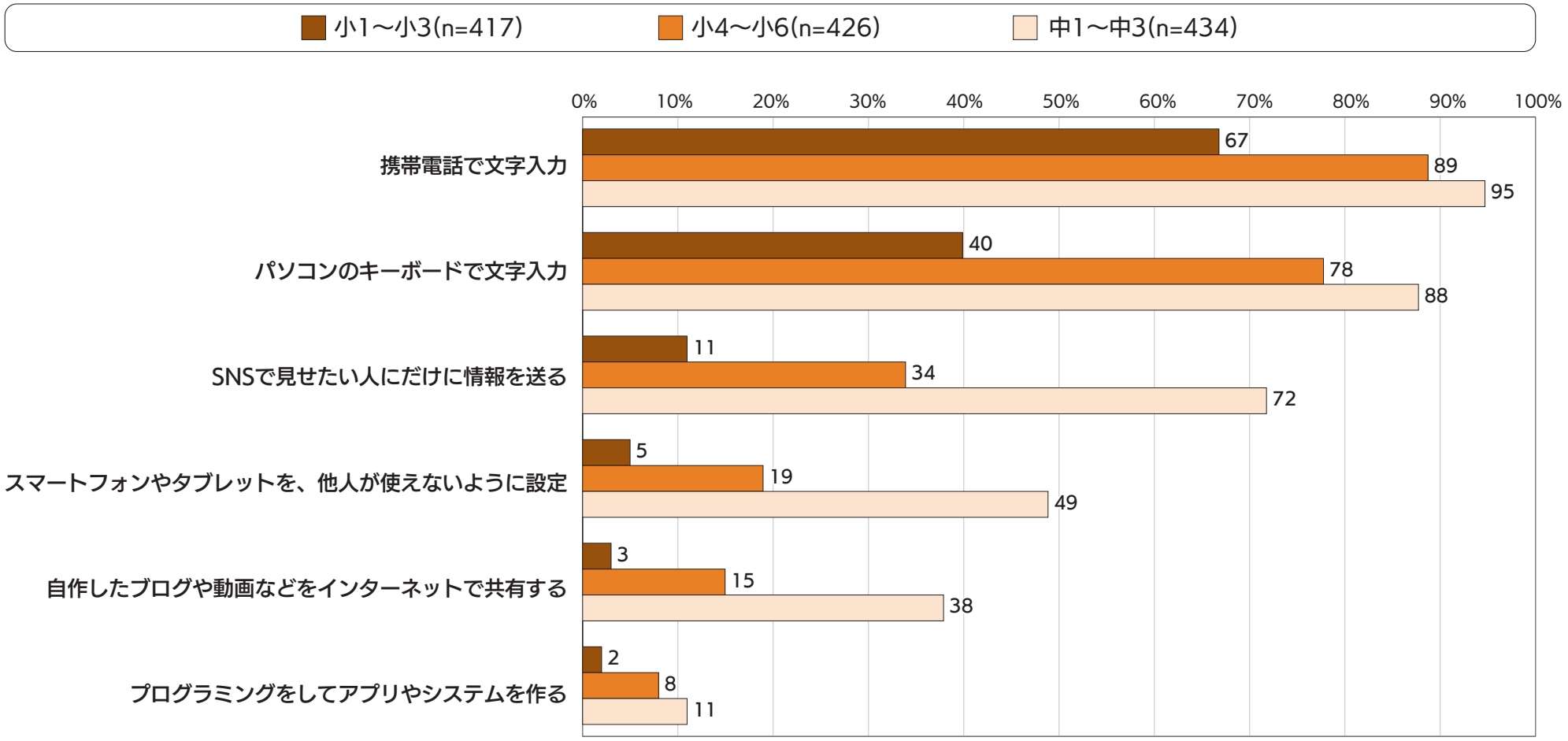


注：小中学生自身が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-24]

子どものICTスキル1[学年別](単一回答)

- 携帯電電話の文字入力ができる割合は、小学生高学年、中学生は約9割。
- パソコンのキーボード入力は、小学生低学年約4割、高学年約8割、中学生は約9割ができると回答。

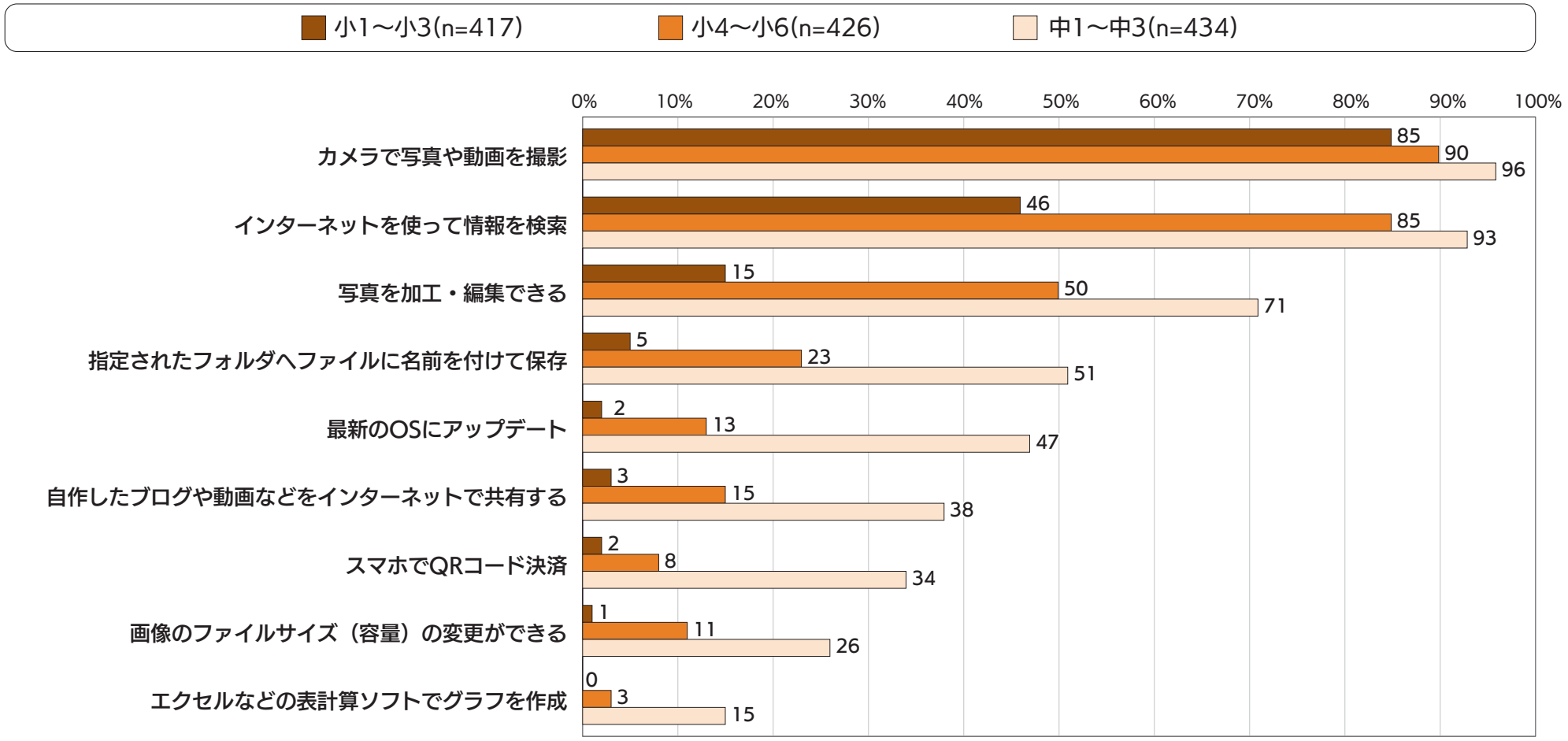


注：小中学生自身が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-25]

子どものICTスキル2[学年別](単一回答)

- 「カメラで写真や動画を撮影」は、小学校低学年でも約9割、中学生はさらに「写真を加工・編集できる」が7割を超える。
- 「インターネットを使って情報を検索」は、小学校低学年で約5割、高学年で約9割。

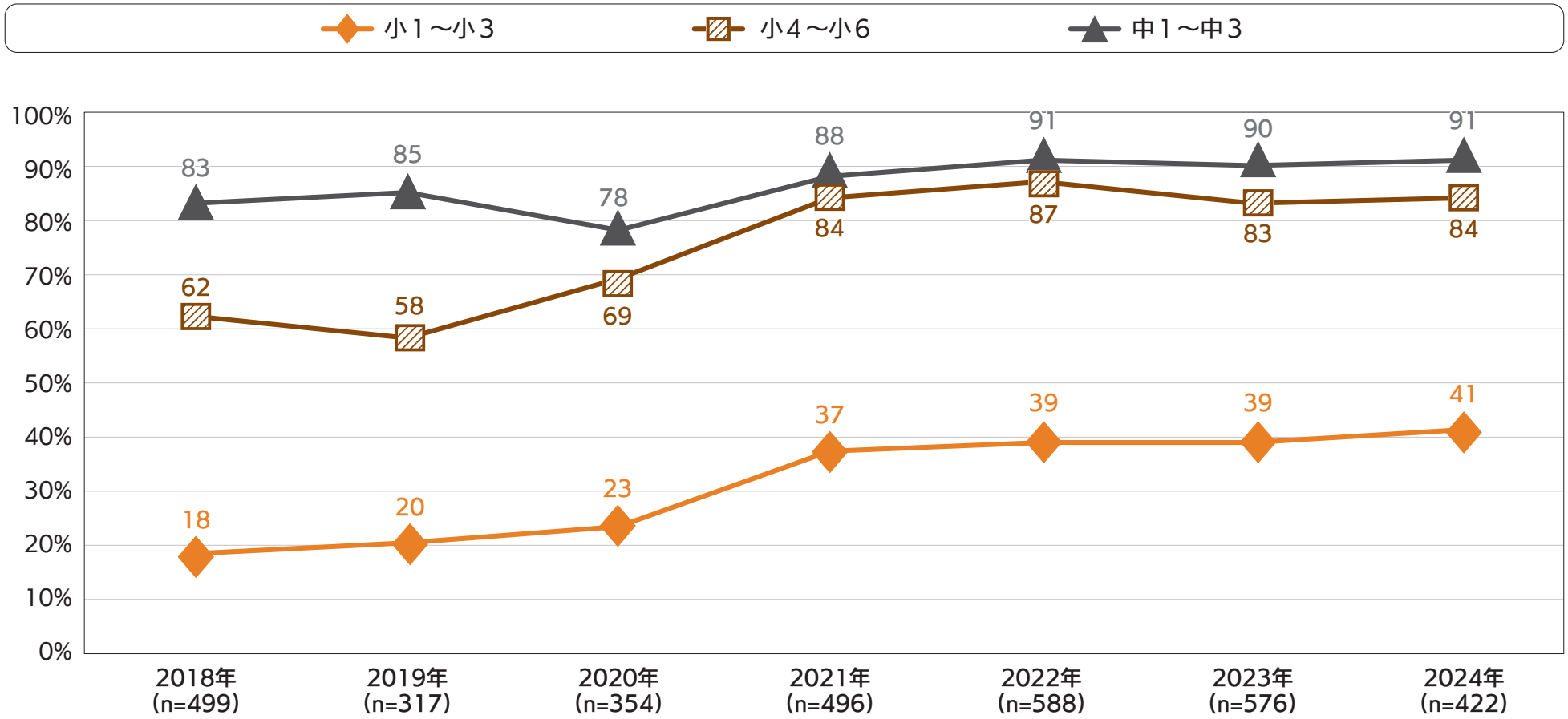


注：小中学生自身が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-26]

パソコンでの文字入力年次変化[学年別]（単数回答）

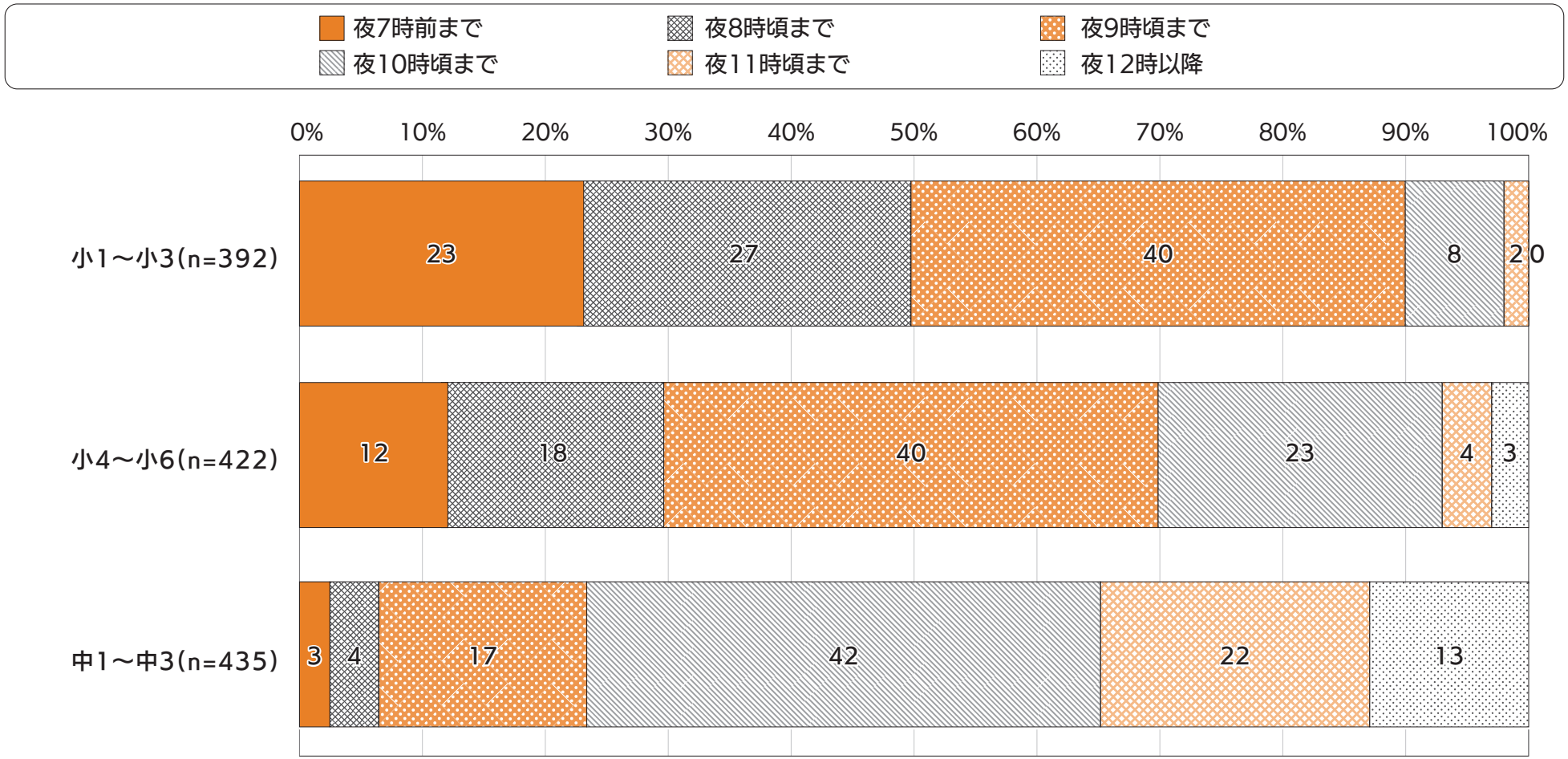
● 2020年から2021年にかけて上昇、以降は横ばい。



注：関東の小中学生自身が回答。
出典：2018～2024年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-27] インターネット(検索、YouTube、オンラインゲーム、LINEなど)利用終了時間[学年別](単一回答)

- 中学生になると約8割が夜10時頃まで、またはそれ以降までインターネットを利用していると回答。
- 12時以降も1割以上。



注：インターネットを利用する小中学生自身が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

7章 子どものICT利用

本章では、調査対象を小中学生やその保護者としている

3節 保護者の意識と親子間ルール

子どものICT利用への期待や不安、親子間ルール設定率、親子の連絡頻度、フィルタリング利用率

ポイント

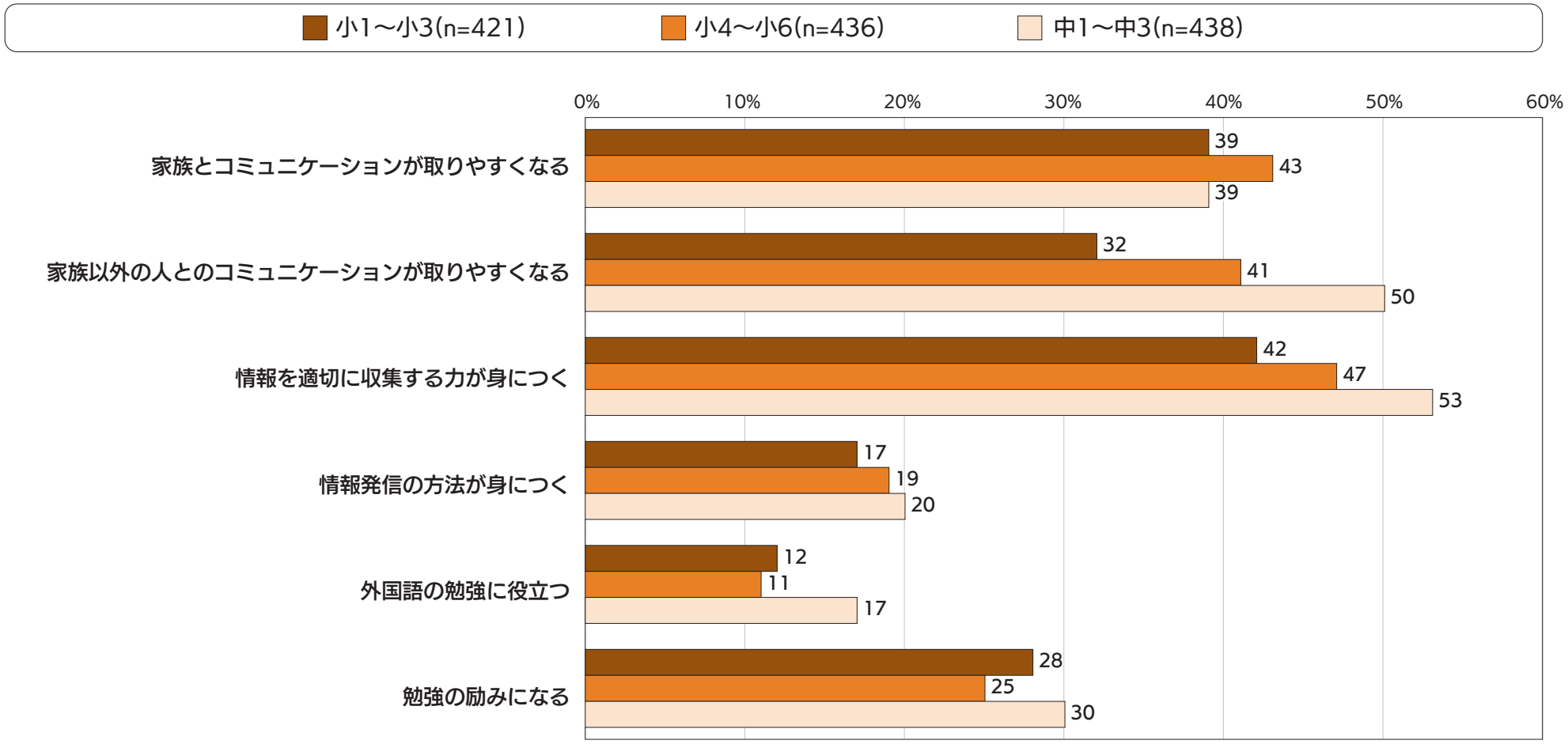
- 子どものICT利用に関する保護者の期待、すべての学年で「情報を適切に収集する力が身につく」が最も高く4～5割（資料7-28）。
- ペアレンタルコントロールの利用状況　小学生約8割、中学生は6割強（資料7-36）。
- ペアレンタルコントロールの種類、「閲覧内容のフィルタリング」が最も高く約8割（資料7-38）。

[資料7-28] 子どものICT利用に関する保護者の期待[学年別]（複数回答） …… 213
[資料7-29] 子どものICT利用に関する保護者の不安[学年別]（複数回答） …… 214
[資料7-30] 子どもに携帯電話の利用を教える場合に保護者が感じる不安[学年別]（複数回答）…… 215
[資料7-31] スマートフォン利用の親子間ルールの設定率[学年別]（複数回答） …… 216
[資料7-32] 子どもがスマートフォン利用の親子間ルールを破った際の行動[学年別]（複数回答） …… 217
[資料7-33]親子間の直接顔を合わせた会話時間[学年別]（単一回答） …… 218
[資料7-34]子どもが一人で過ごす時間[学年別]（単一回答） …… 219
[資料7-35] 親子間のメッセージ（LINEやメールなど）のやりとりの頻度[学年別]（単一回答） …… 220
[資料7-36] ペアレンタルコントールの利用状況[学年別]（単一回答） …… 221
[資料7-37] フィルタリングや利用制限などのペアレンタルコントロール利用率の年次推移[学年別]（単一回答） …… 222
[資料7-38] ペアレンタルコントロールの種類[学年別]（複数回答）…… 223
[資料7-39] 校内での私物の携帯電話の利用ルール[学年別]（単一回答） … 224
[資料7-40] 校内での私物の携帯電話の利用ルール[地域別]（単一回答） … 225

[資料7-28]

子どものICT利用に関する保護者の期待[学年別](複数回答)

- すべての学年で、「情報を適切に収集する力が身につく」が最も高い。
- コミュニケーションが取りやすくなる」は、小学生では「家族とのコミュニケーション」が高いが、中学生になると「家族以外の人とのコミュニケーション」への期待が高くなる。

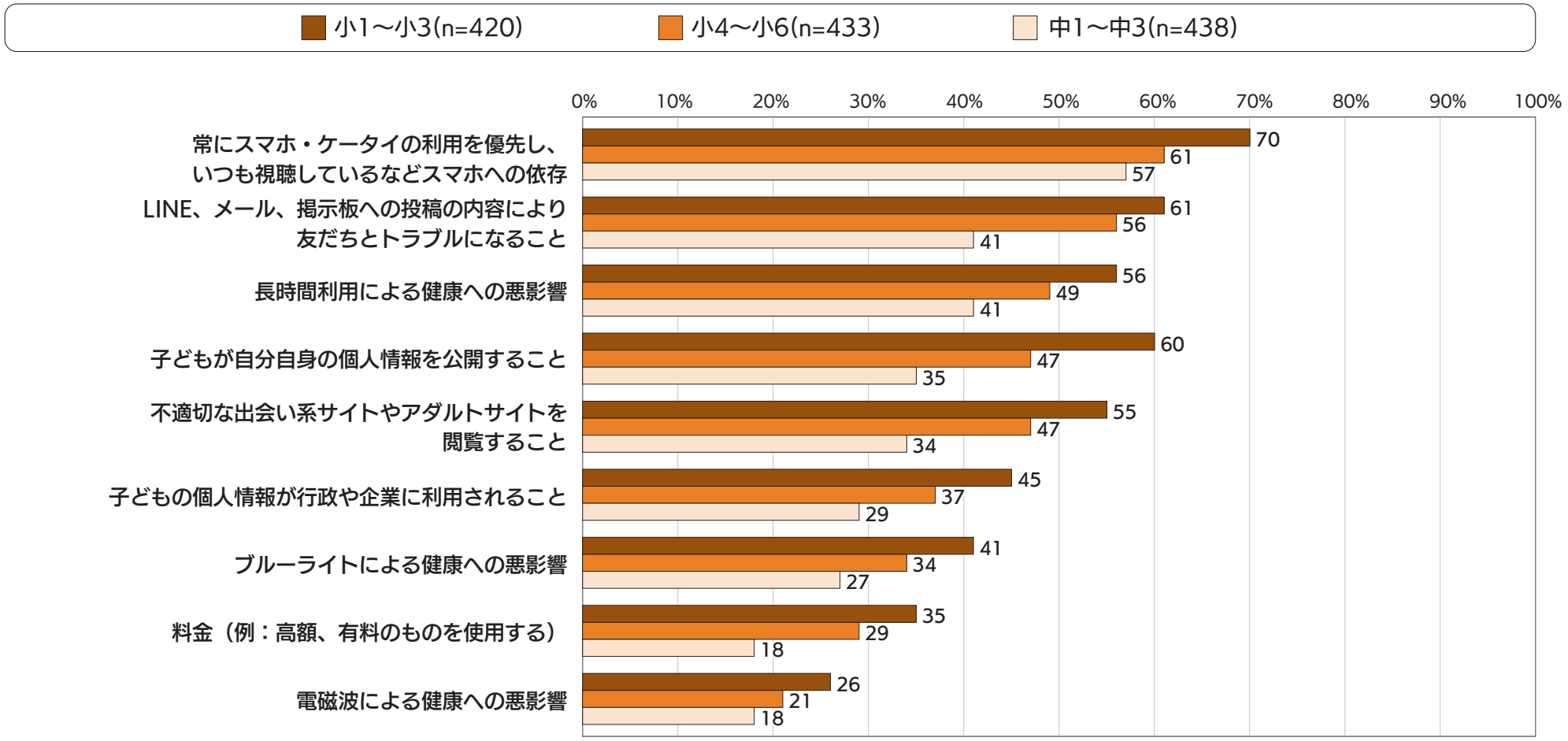


注：小中学生の保護者が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-29]

子どものICT利用に関する保護者の不安[学年別](複数回答)

- 学年が低い保護者のほうが不安が高く、学年が上がると下がっていく傾向。
- 「長時間利用による健康への悪影響」が全学年で最も高い。

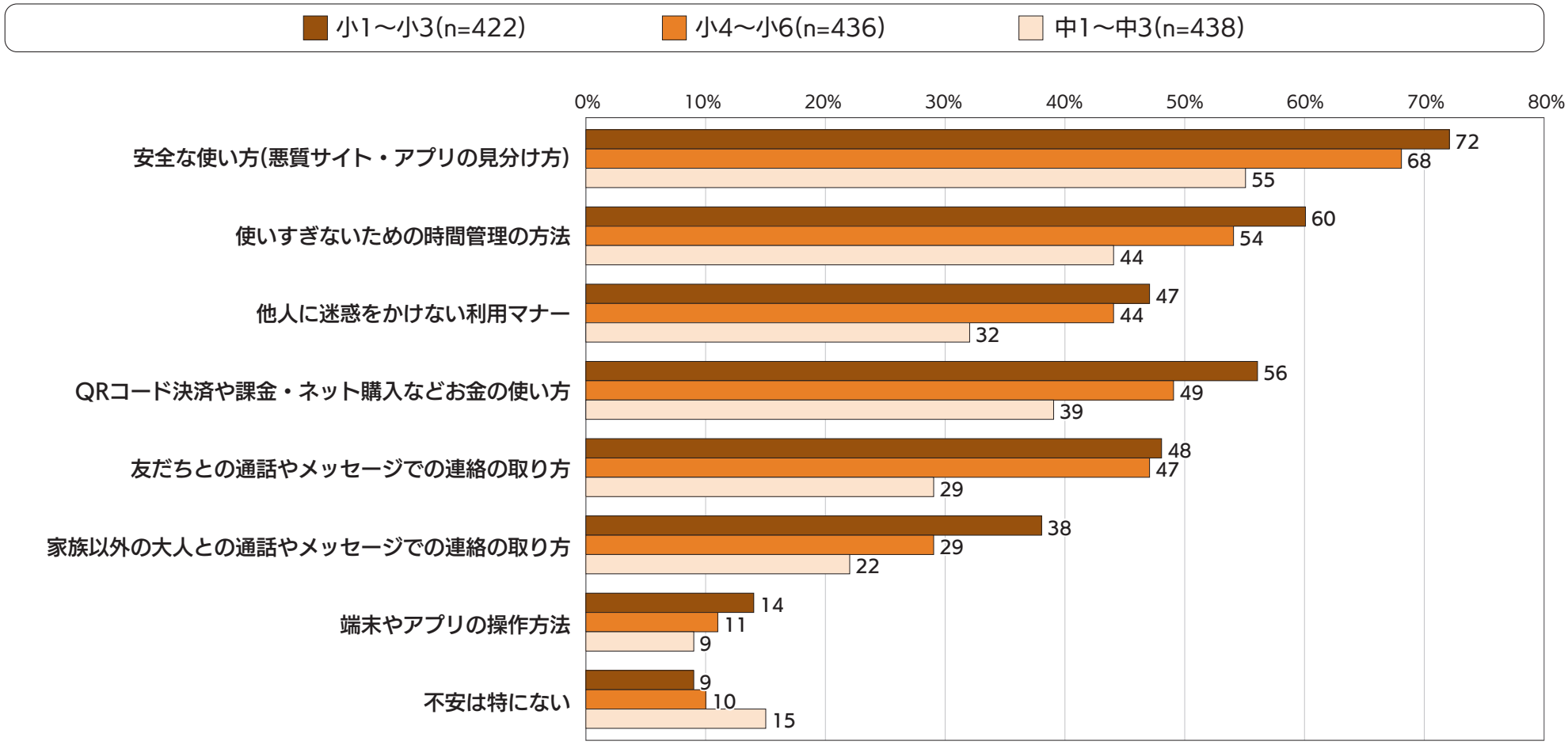


注：小中学生の保護者が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-30]

子どもに携帯電話の利用を教える場合に保護者が感じる不安[学年別](複数回答)

- 学年が低い保護者のほうが不安が高く、学年が上がると下がっていく傾向。
- 「安全な使い方」が約6～7割と、全学年で最も不安が高い。
- 「端末やアプリの操作方法」はいずれの学年も比較的不安に感じる割合は低い傾向で、いずれも2割以下。



注：小中学生の保護者が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-31]

スマートフォン利用の親子間ルールの設定率[学年別](複数回答)

- 「料金」(課金)に関するルールは全学年で高い傾向。
- 「場所や時間」に関するルールは小学生で高い。
- 「個人情報」に関するルールは中学生で高い。

■ 場所や時間　□ 料金(課金)　□ 個人情報

(%)

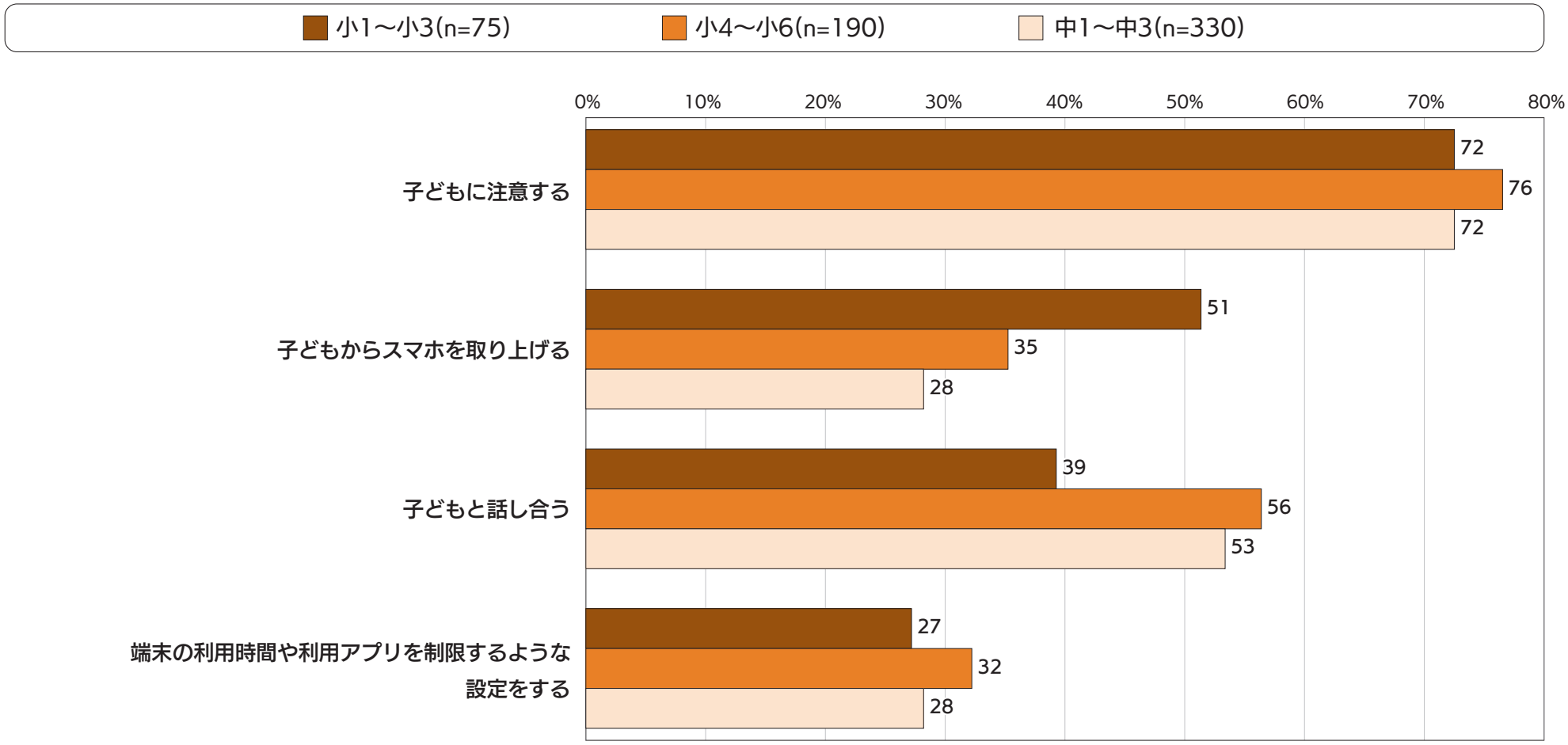
小1～小3(n=78)		小4～小6(n=201)		中1～中3(n=363)	
スマホを使うのは決められた時間だけ(夜〇〇時まで、〇時間以内など)	76	勝手に課金・ネット購入をしない	79	勝手に課金・ネット購入をしない	86
食事中にスマホを利用しない	76	アプリをダウンロードするときは保護者に相談し、追加料金がかからないようにする	74	個人情報や本人だと特定できる写真をネット上にアップしない	63
勝手に課金・ネット購入をしない	76	スマホを使うのは決められた時間だけ(夜〇〇時まで、〇時間以内など)	71	面識のない人とは連絡や連絡先の交換をしない	63
アプリをダウンロードするときは保護者に相談し、追加料金がかからないようにする	67	個人情報や本人だと特定できる写真をネット上にアップしない	60	アプリをダウンロードするときは保護者に相談し、追加料金がかからないようにする	63
歩行中や自転車をのりながらスマホを利用しない	59	食事中にスマホを利用しない	57	スマホを使うのは決められた時間だけ(夜〇〇時まで、〇時間以内など)	62
面識のない人とは連絡や連絡先の交換をしない	58	歩行中や自転車をのりながらスマホを利用しない	56	食事中にスマホを利用しない	60
個人情報や本人だと特定できる写真をネット上にアップしない	49	個人情報や本人だと特定できる写真をネット上にアップしない	55	LINE・X・掲示板などで個人情報や友だちの悪口を書かない	60

注：スマートフォンを利用する小中学生の保護者が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-32]

子どもがスマートフォン利用の親子間ルールを破った際の行動[学年別](複数回答)

- 親子間ルールを破った際には「子どもに注意する」が全学年で約7割～8割と最も高い。
- 小学生高学年以上は、次いで「子どもと話し合う」が高いが、低学年は「子どもからスマートフォンを取り上げる」が高い。

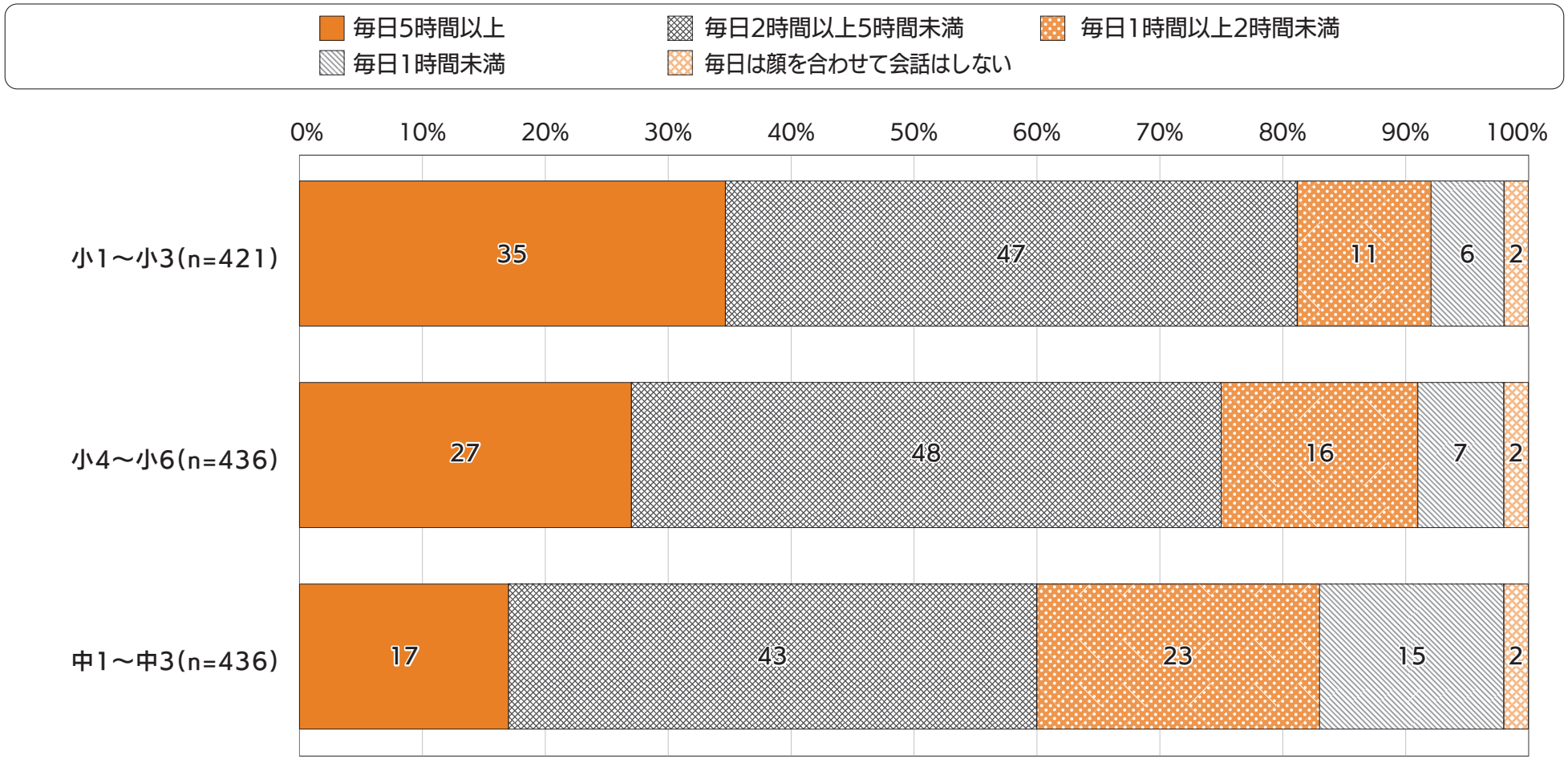


注：スマートフォン利用で親子間ルールを設定している小中学生の保護者が回答。「もしお子さまが携帯電話利用の親子間ルールを破ったらどうしますか。当てはまるものをすべてお選びください」と質問。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-33]

親子間の直接顔を合わせた会話時間[学年別](単一回答)

- 会話時間は学年が上がるに伴い減少する傾向。
- 毎日2時間以上会話する割合は、小1～小3では約8割だが、中学生では約6割。

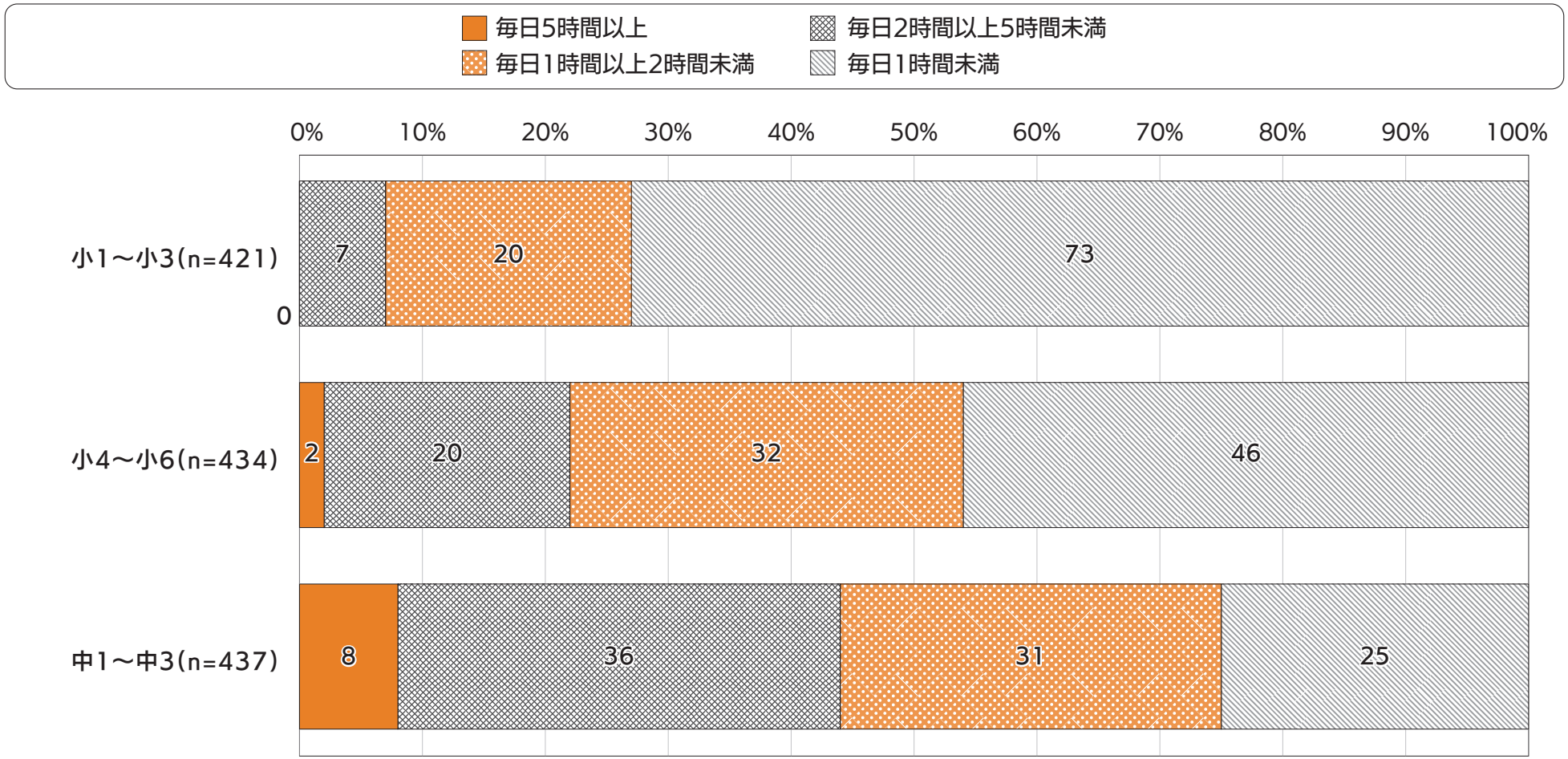


注：小中学生の保護者が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-34]

子どもが一人で過ごす時間[学年別](単一回答)

- 子どもが一人で過ごす時間は学年が上がるにつれて拡大。
- 毎日2時間以上の割合は、小学生低学年が1割弱、高学年が約2割、中学生が4割弱。

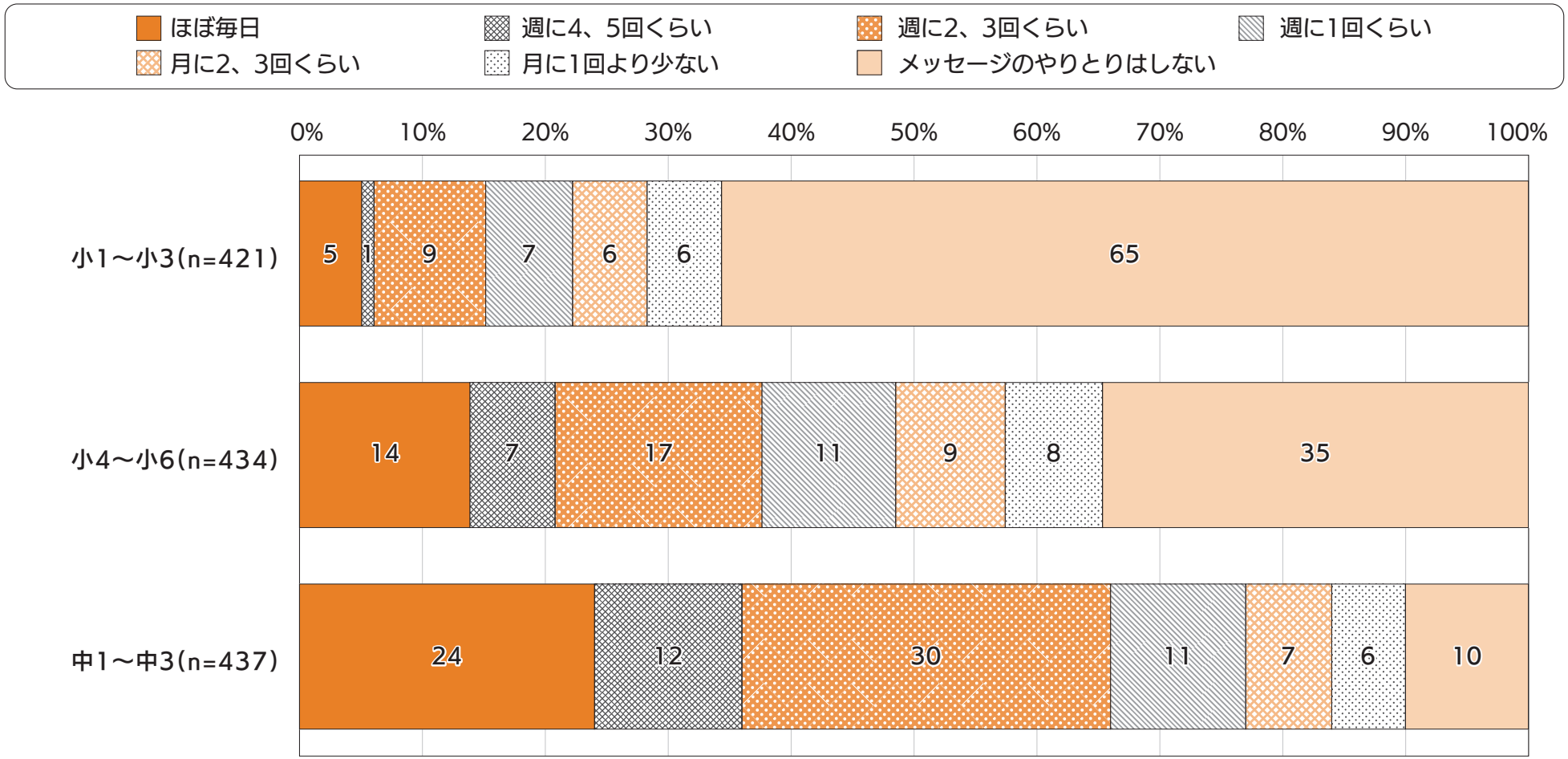


注：小中学生の保護者が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-35]

親子間のメッセージ(LINEやメールなど)のやりとりの頻度[学年別](単一回答)

- 親子間のメッセージ利用頻度は学年が上がると多くなる傾向。
- 中学生は、ほぼ毎日が2割を超え、週に1回までで約8割となる。

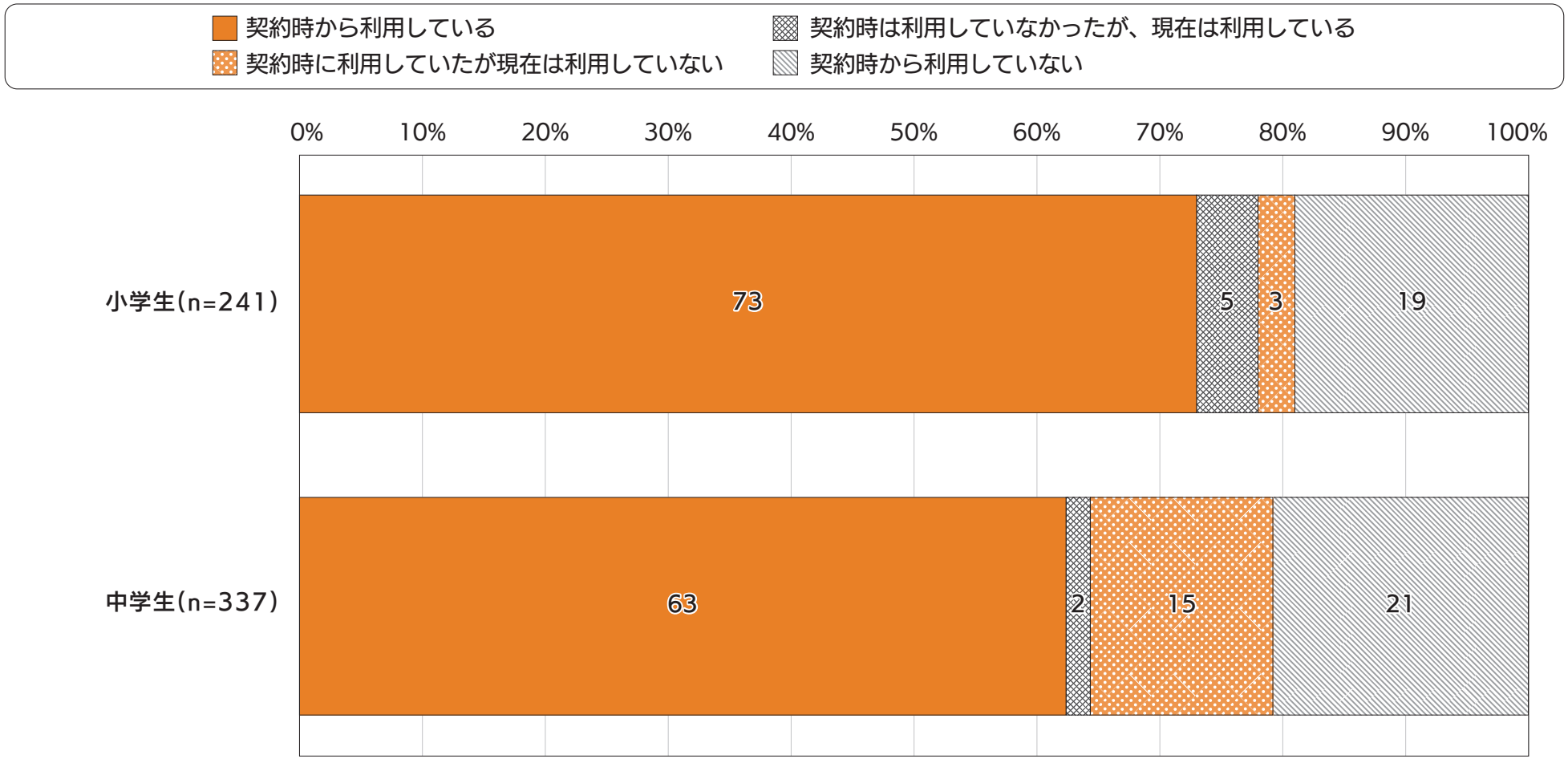


注：小中学生の保護者が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-36]

ペアレンタルコントールの利用状況[学年別](単一回答)

- 小学生は約8割、中学生は6割強がペアレンタルコントロールを利用。
- 中学生は「契約時に利用していたが現在は利用していない」が15%。

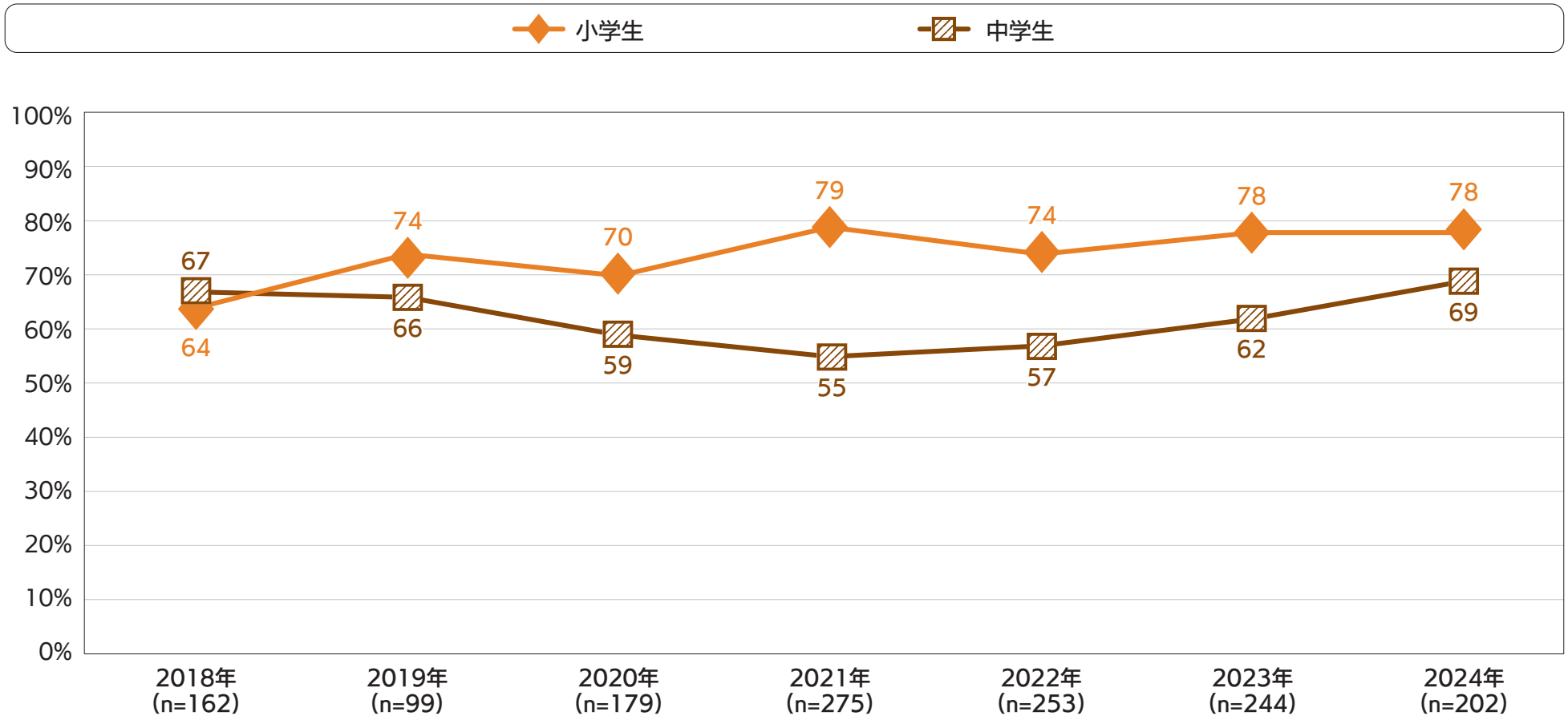


注：小中学生の保護者が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-37]

フィルタリングや利用制限などのペアレンタルコントロール利用率の年次推移[学年別](単一回答)

- 小学生は全体的には横ばい。
- 中学生は2021年が最も低く、以降やや上昇傾向。

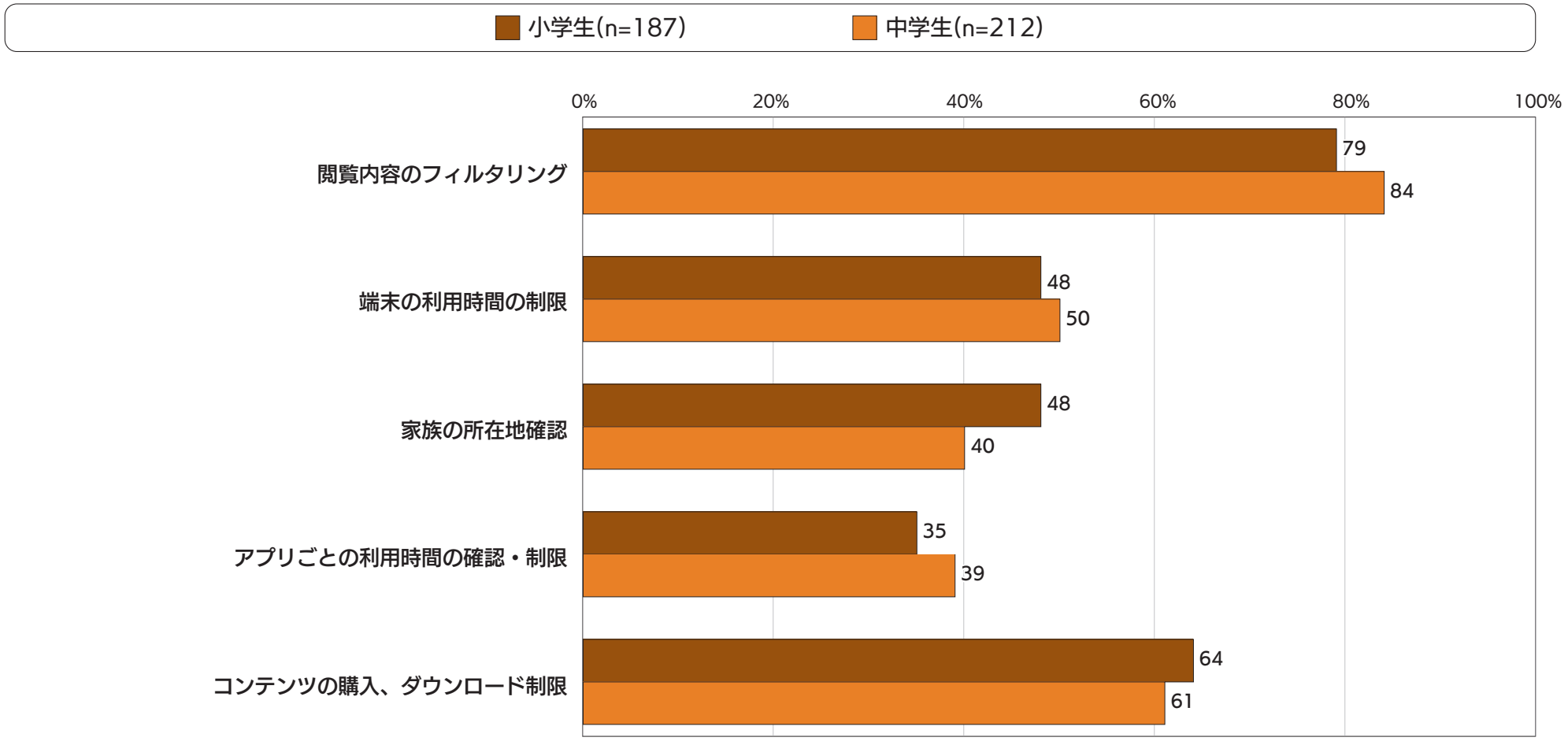


注1：関東の小中学生を持つ保護者が回答。
注2：「あなたのお子さまの携帯電話はフィルタリングや利用制限などの、ペアレンタル・コントロール・サービスを利用できますか。また、実際に利用していますか」と質問。
注3：スマートフォンを所有している子の親が対象。
出典：2018～2024年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-38]

ペアレンタルコントロールの種類[学年別]（複数回答）

● 「閲覧内容のフィルタリング」が最も高く約8割、次いで「コンテンツの購入、ダウンロード制限」が約6割。

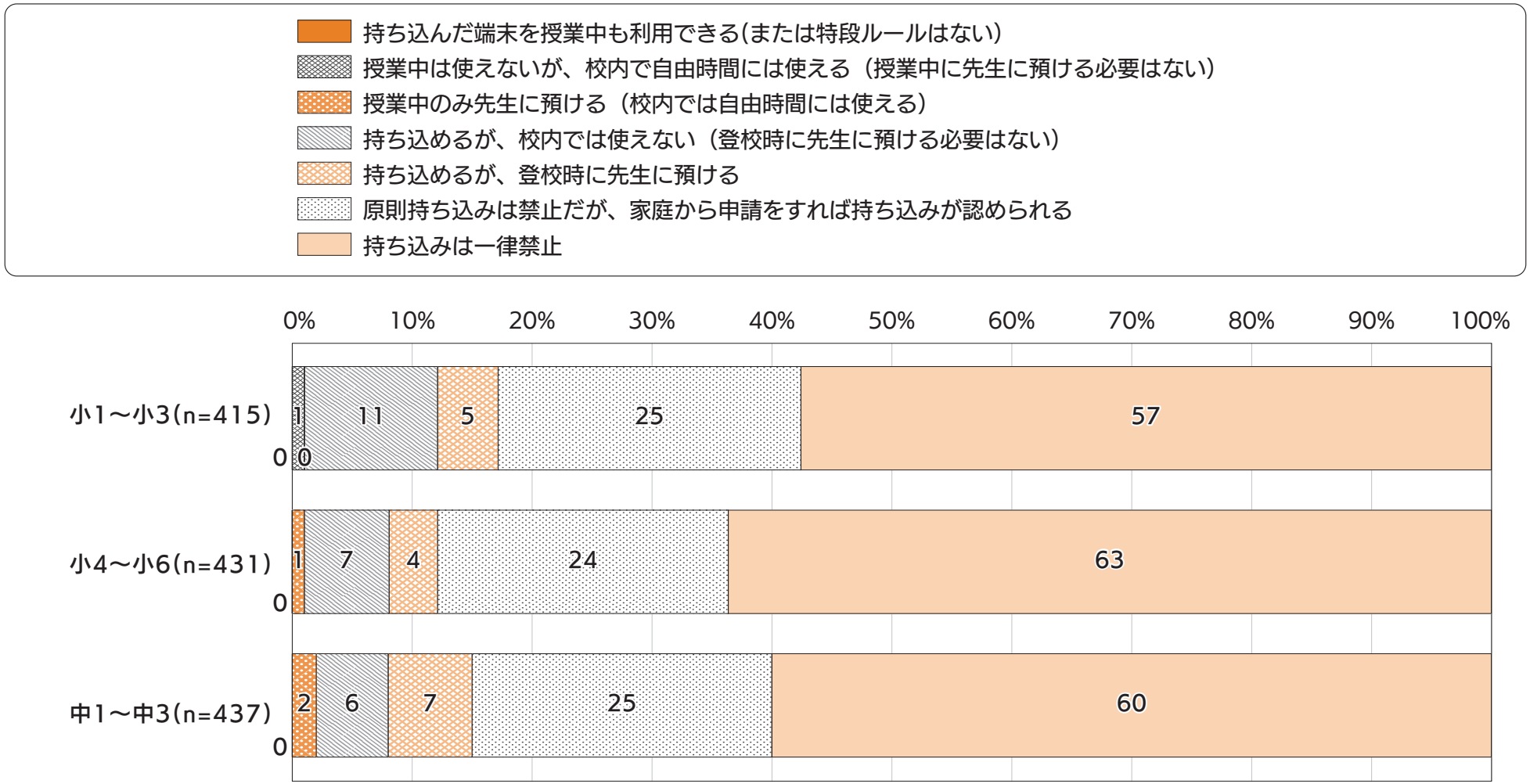


注 1：小中学生の保護者が回答。
注 2：専用のスマートフォンを所有し、ペアレンタルコントロールを実施している人が対象。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-39]

校内での私物の携帯電話の利用ルール[学年別]（単一回答）

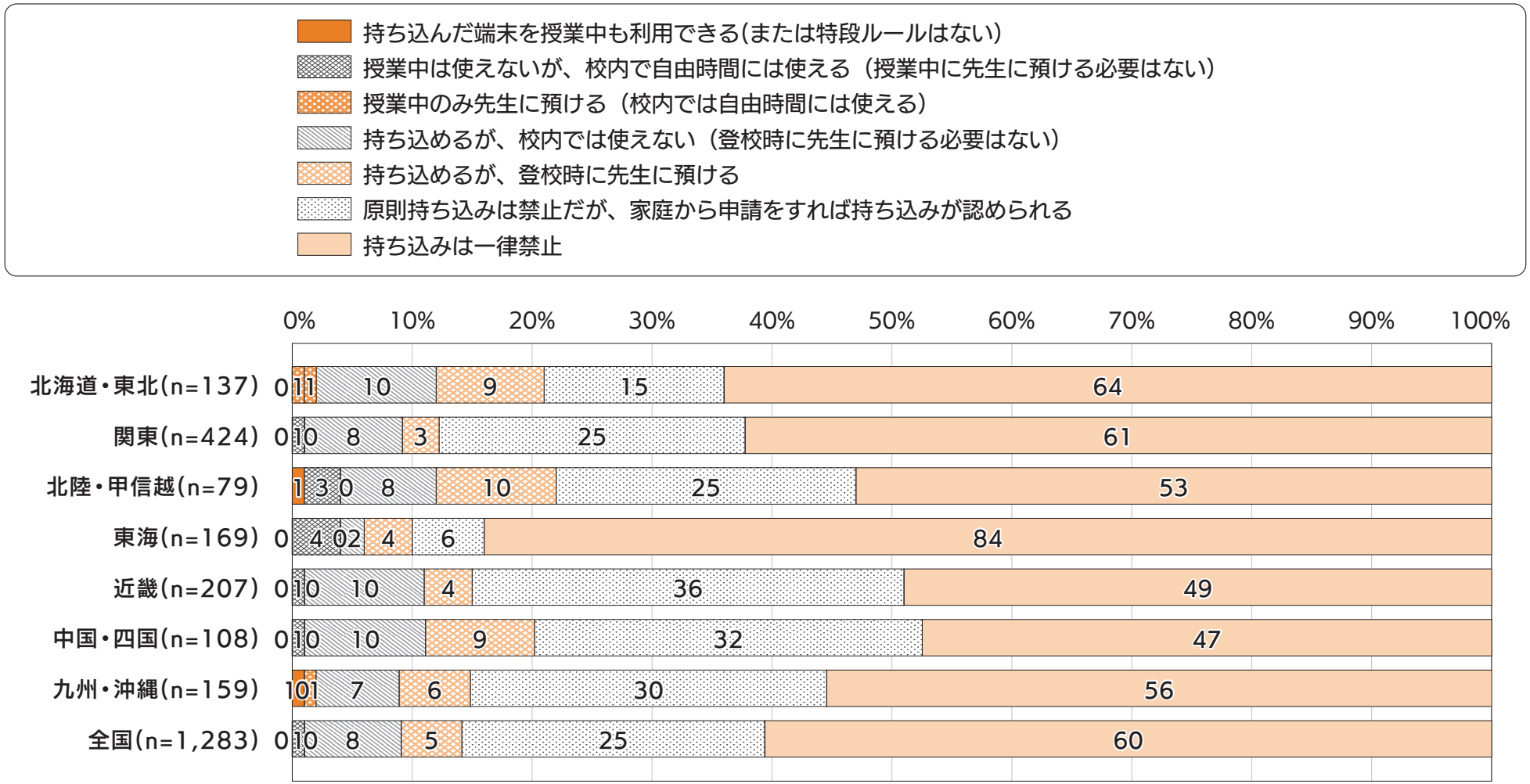
- 「持ち込みは一律禁止」が、全学年で約6割。
- 持ち込める中では「原則持ち込みは禁止だが、家庭から申請をすれば持ち込みが認められる」が最も高く、全学年で25%程度。



注：小中学生の保護者が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-40] 校内での私物の携帯電話の利用ルール[地域別]（単一回答）

● 東海は「持ち込みは一律禁止」が高く8割を超える。



注：小中学生の保護者が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

7章 子どものICT利用

本章では、調査対象を小中学生やその保護者としている

4節 学校との関わり

タブレット・パソコンの利用、貸与された端末の活用、オンライン授業の感想

ポイント

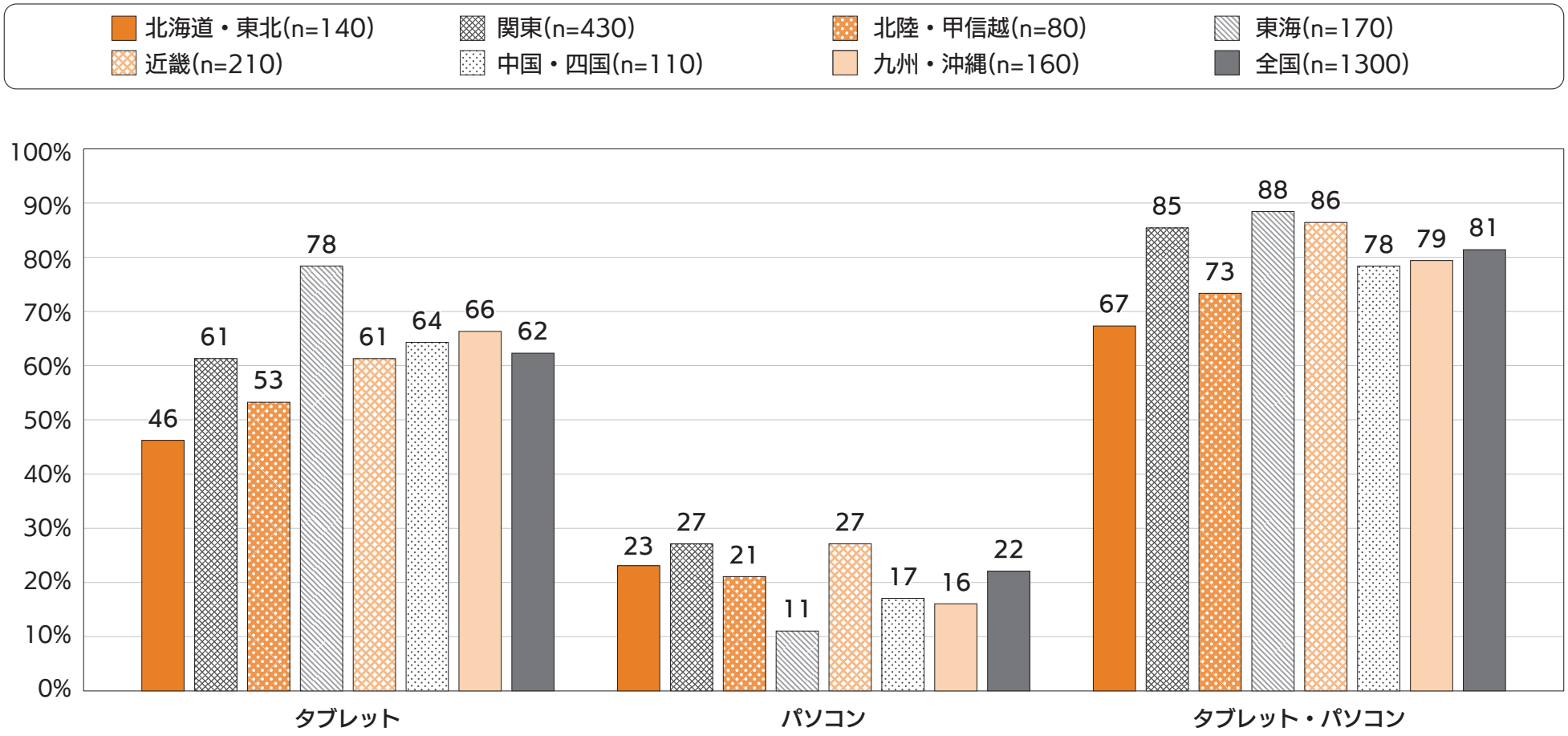
- 全国では約8割が貸与された「タブレット」「パソコン」のいずれかを家庭で利用している（資料7-41）。
- 貸与、自宅のタブレット・パソコンともに「宿題での活用」が最も多く、それぞれ7割と約3割（資料7-45）。
- 学校の授業でのタブレット・パソコンの使用、小学生高学と中学生は「ほぼ毎日」が約3割、週に1回以上実施で約7割（資料7-51）。

[資料7-41] 学校から貸与されたタブレット・パソコンの家庭での利用[地域別]（複数回答） …… 227
[資料7-42] 学校から貸与されたタブレット・パソコンの家庭での利用年次推移[学年別]（複数回答） …… 228
[資料7-43] 学校から貸与されたタブレット・パソコンの家庭利用時の制限[学年別]（単一回答） …… 229
[資料7-44] 学校から貸与されたタブレット・パソコンの家庭利用時の制限[地域別]（単一回答） …… 230
[資料7-45] 家庭でのタブレット・パソコンの活用状況（複数回答） …… 231
[資料7-46] タブレット・パソコンの宿題での活用状況[地域別]（単一回答）… 232
[資料7-47] 家庭で所有するタブレット・パソコンの利用年次推移[学年別]（単一回答） …… 233
[資料7-48] 家庭で所有するタブレット・パソコンの利用[地域別]（単一回答） …… 234
[資料7-49] 学校の中でのタブレット・パソコンの活用状況[学年別]（複数回答） …… 235
[資料7-50] 学校の中でのタブレット・パソコンの活用状況[地域別]（複数回答） …… 236
[資料7-51] 学校の授業でのタブレット・パソコンの使用頻度[学年別]…… 237
[資料7-52] 学校の授業でのタブレット・パソコンの使用頻度[地域別]…… 238
[資料7-53] パソコンやタブレットを使った授業への評価（複数回答） …… 239
[資料7-54] パソコンやタブレット、スマートフォンを使った勉強の感想（単一回答） …… 240

[資料7-41]

学校から貸与されたタブレット・パソコンの家庭での利用[地域別](複数回答)

● 全国では約8割が貸与された「タブレット」「パソコン」のいずれかを家庭で利用している。

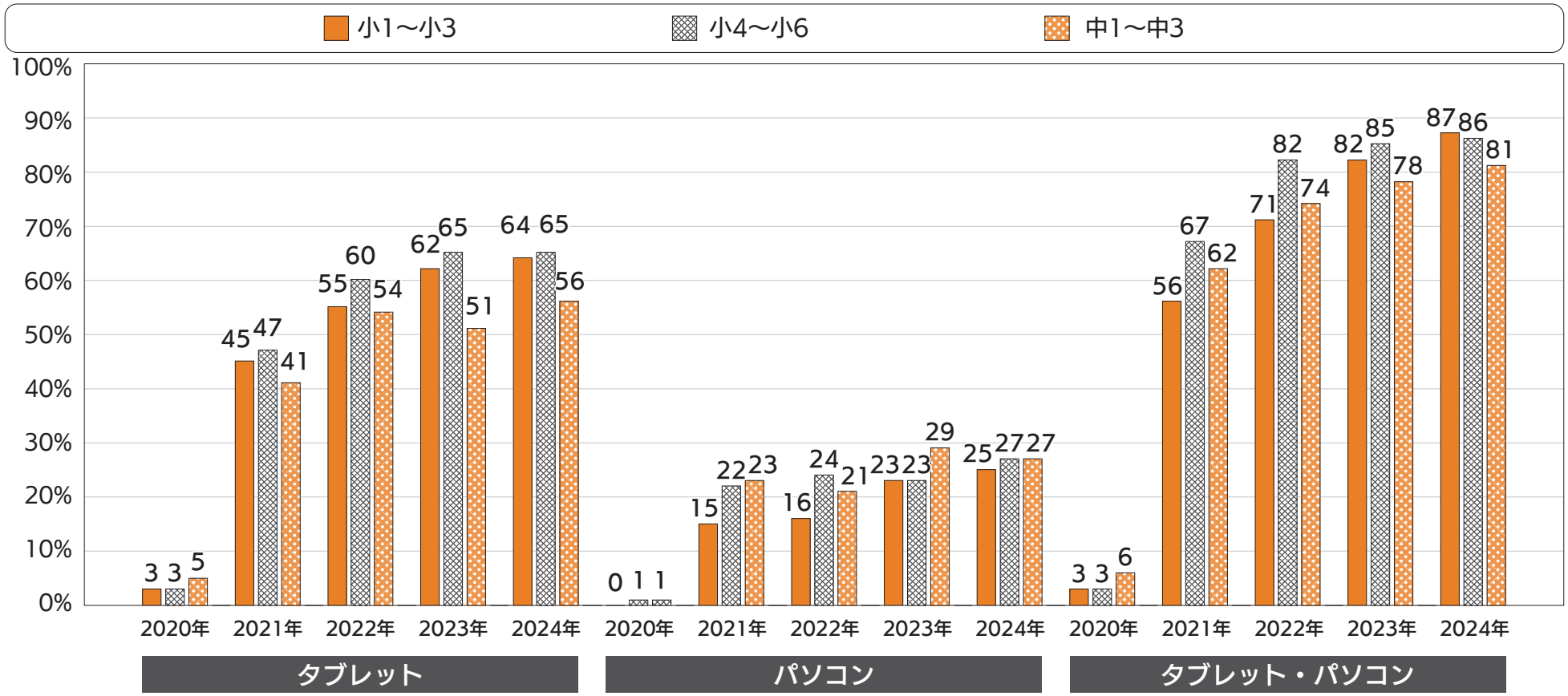


注 1：小中学生の保護者が回答。
注 2：「タブレット・パソコン」はタブレット・パソコンいずれか、または両方を利用している小中学生の保護者の回答を集計。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-42]

学校から貸与されたタブレット・パソコンの家庭での利用年次推移[学年別]（複数回答）

- 貸与された「タブレット」「パソコン」利用は2021年に大幅に増加。
- 全学年の8割以上が貸与された「タブレット」「パソコン」のいずれかを家庭で利用している。



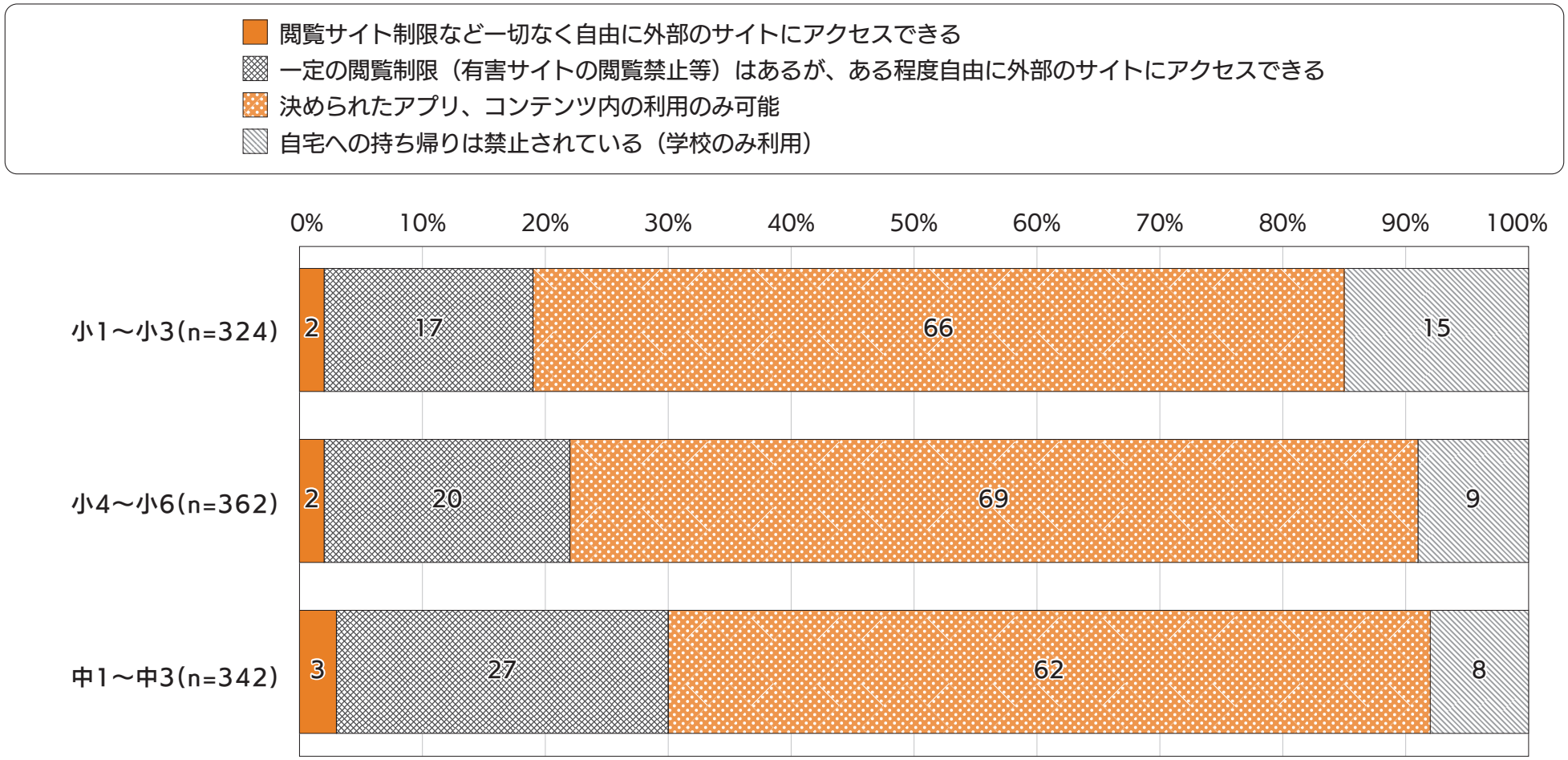
小1～小3：2020年（n=115）、2021年（n=162）、2022年（n=195）、2023年（n=195）、2024年（n=422）
小4～小6：2020年（n=115）、2021年（n=162）、2022年（n=204）、2023年（n=204）、2024年（n=438）
中1～中3：2020年（n=120）、2021年（n=175）、2022年（n=201）、2023年（n=201）、2024年（n=440）

注１：関東の小中学生の保護者が回答。
注２：「タブレット・パソコン」はタブレット・パソコンいずれか、または両方を利用している小中学生の保護者の回答を集計。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-43]

学校から貸与されたタブレット・パソコンの家庭利用時の制限[学年別](単一回答)

- 約6～7割が「決められたアプリ、コンテンツ内の利用のみ可能」。
- 「自宅への持ち帰り禁止」は全学年1割程度。

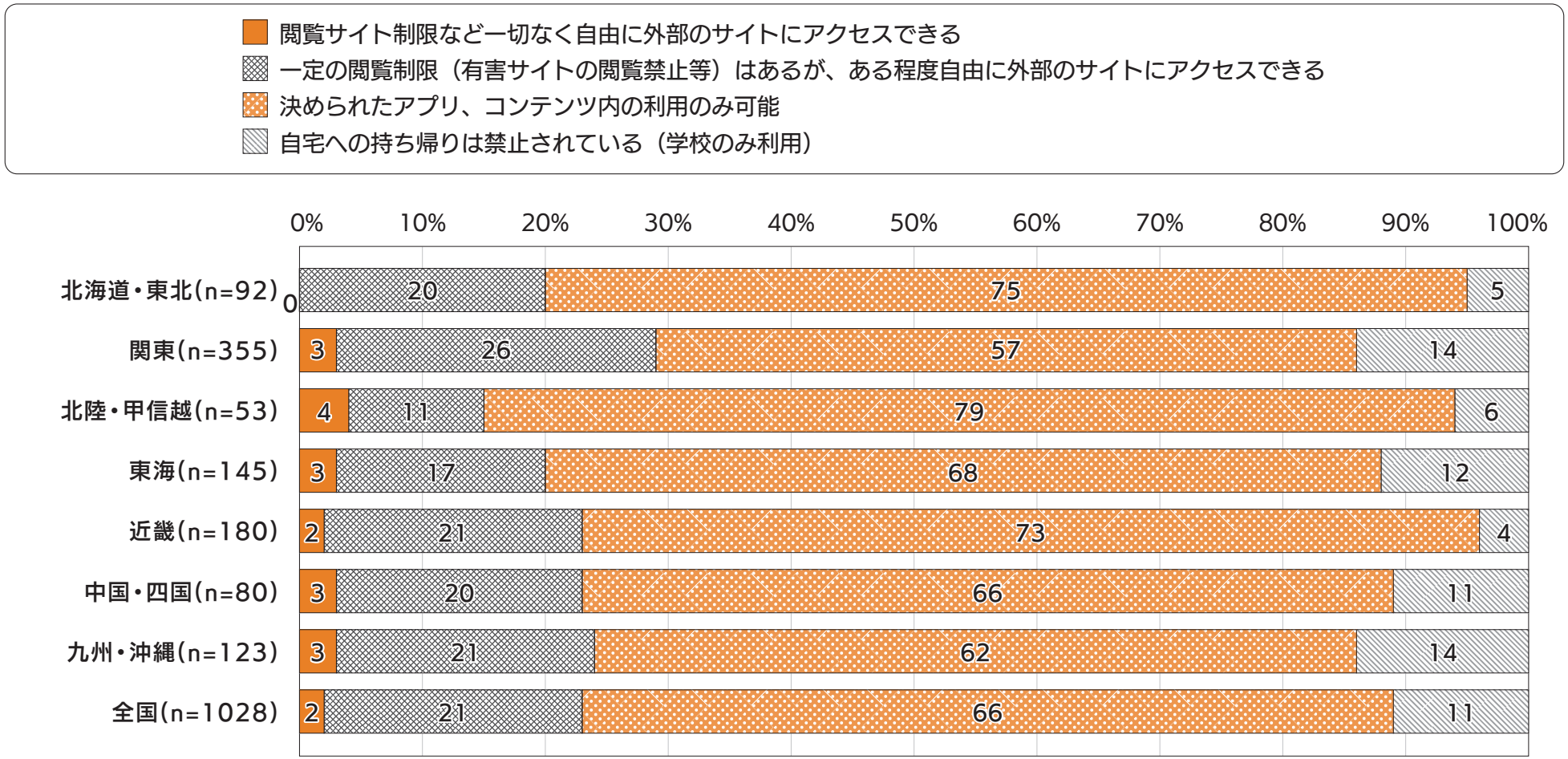


注1：小中学生の保護者が回答。
注2：学校からタブレット・パソコンが貸与された子が対象。
出典：2024年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-44]

学校から貸与されたタブレット・パソコンの家庭利用時の制限[地域別](単一回答)

● 地域差では大きな違いはない。

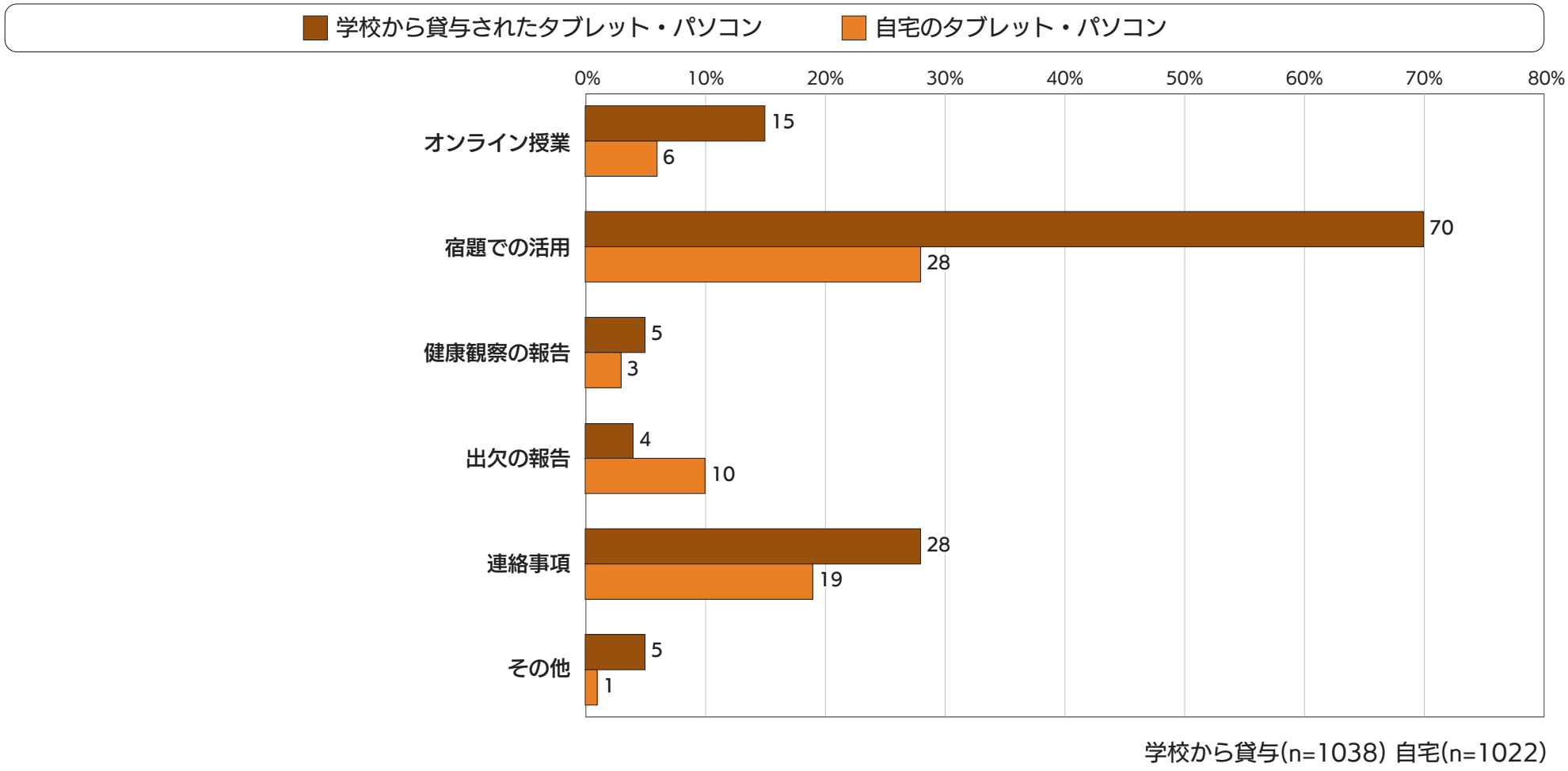


注１：小中学生の保護者が回答。
注２：学校からタブレット・パソコンが貸与された子が対象。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-45]

家庭でのタブレット・パソコンの活用状況（複数回答）

- 貸与、自宅のタブレット・パソコンともに「宿題での活用」が最も多く、それぞれ7割と約3割。
- 学校関連の利用は、学校から貸与されたタブレット・パソコンの利用のほうが自宅のタブレット・パソコンより多い。

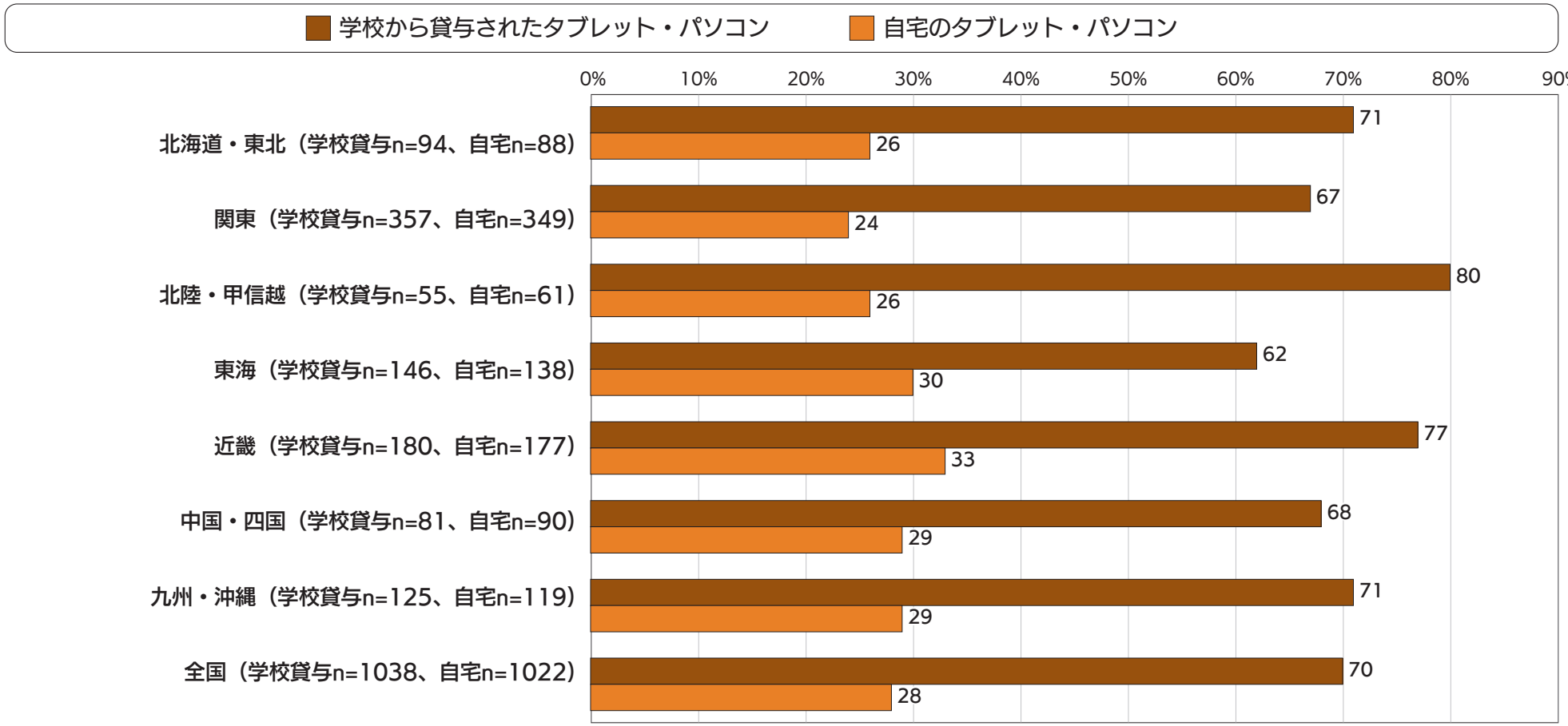


注：小中学生の保護者が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-46]

タブレット・パソコンの宿題での活用状況[地域別]（単一回答）

● 地域間で利用状況には大きな差はない。

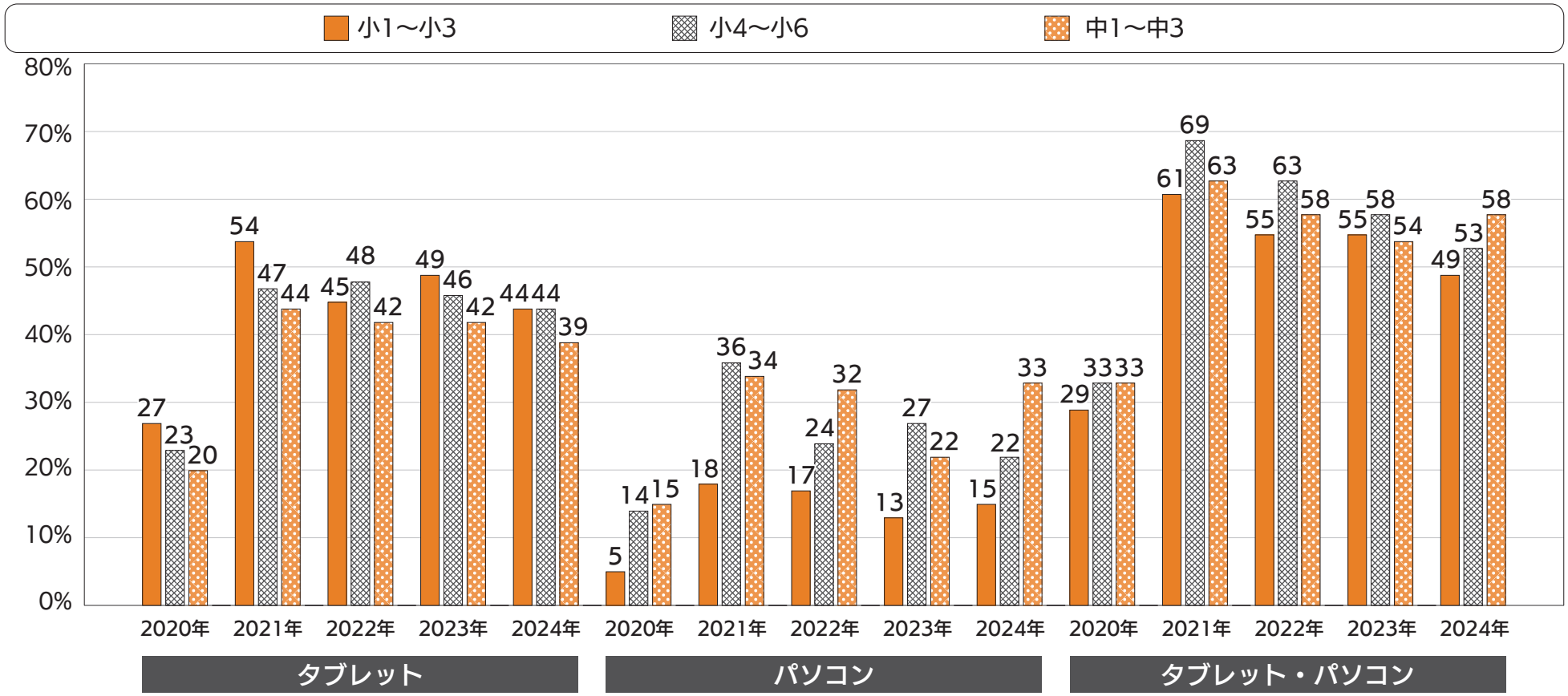


注：小中学生の保護者が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-47]

家庭で所有するタブレット・パソコンの利用年次推移[学年別](単一回答)

● 家庭で所有するタブレット・パソコンの利用は2021年に大きく上昇、その後おおむねやや減少。



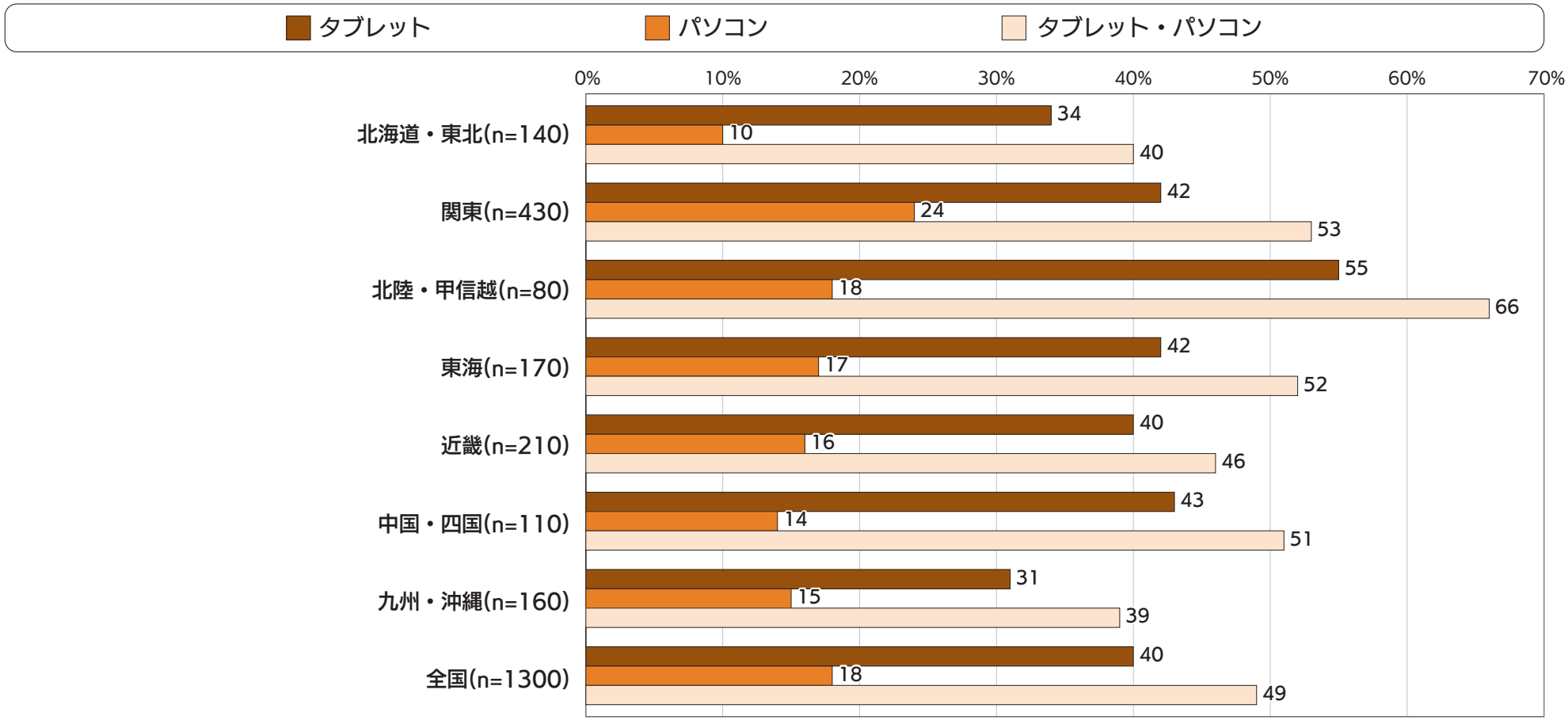
小1～小3：2020年（n=115）、2021年（n=162）、2022年（n=195）、2023年（n=195）、2024年（n=142）
小4～小6：2020年（n=115）、2021年（n=162）、2022年（n=204）、2023年（n=204）、2024年（n=144）
中1～中3：2020年（n=120）、2021年（n=175）、2022年（n=201）、2023年（n=201）、2024年（n=144）

注 1：関東の小中学生の保護者が回答。
注 2：「タブレット・パソコン」はタブレット・パソコンいずれか、または両方を利用している小中学生の保護者の回答を集計。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-48]

家庭で所有するタブレット・パソコンの利用[地域別](単一回答)

- 関東はパソコンが他の地域に比べて高い。
- 北陸、甲信越はタブレットが他の地域に比べて高い。

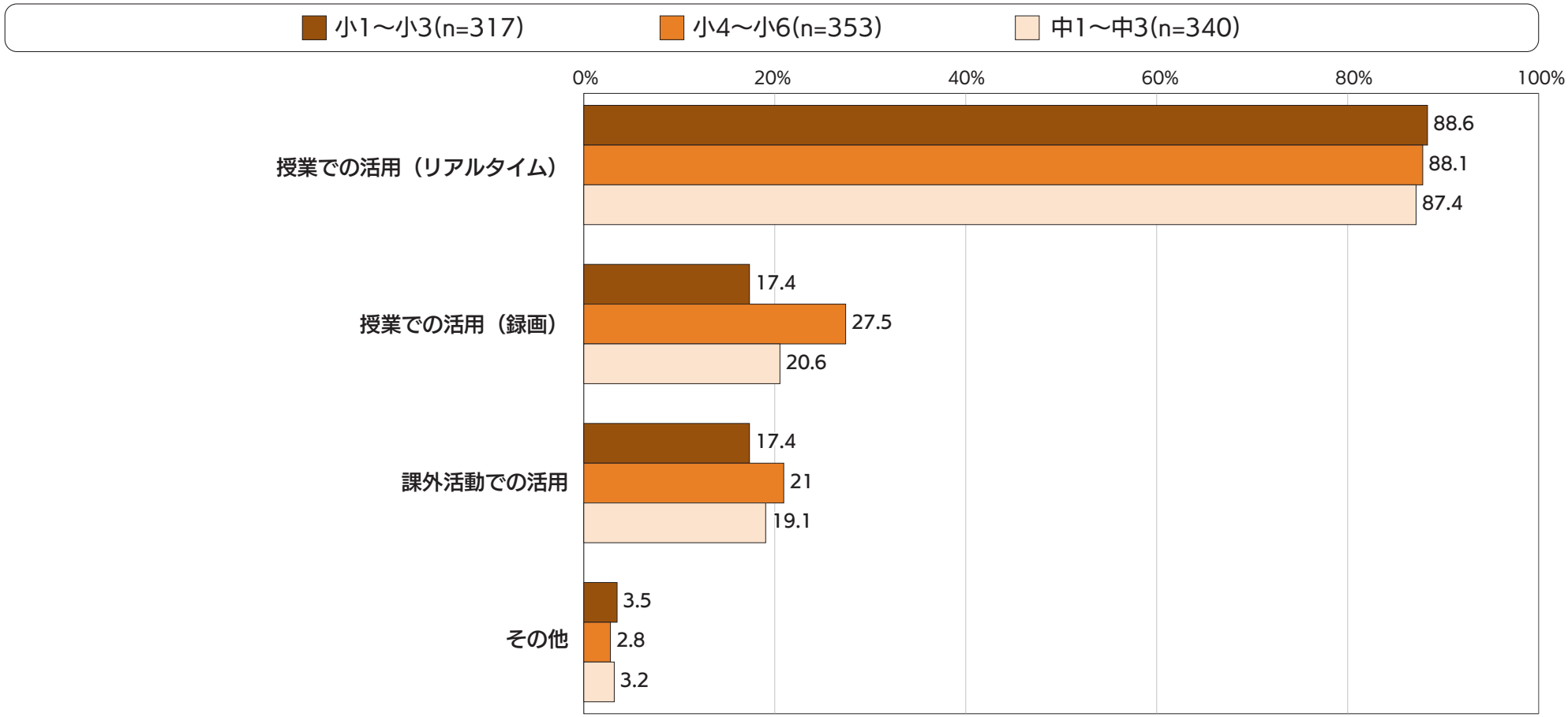


注：小中学生の保護者が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-49]

学校の中でのタブレット・パソコンの活用状況［学年別］（複数回答）

● 全学年でリアルタイムの授業で活用されている割合が約9割と最も高い。

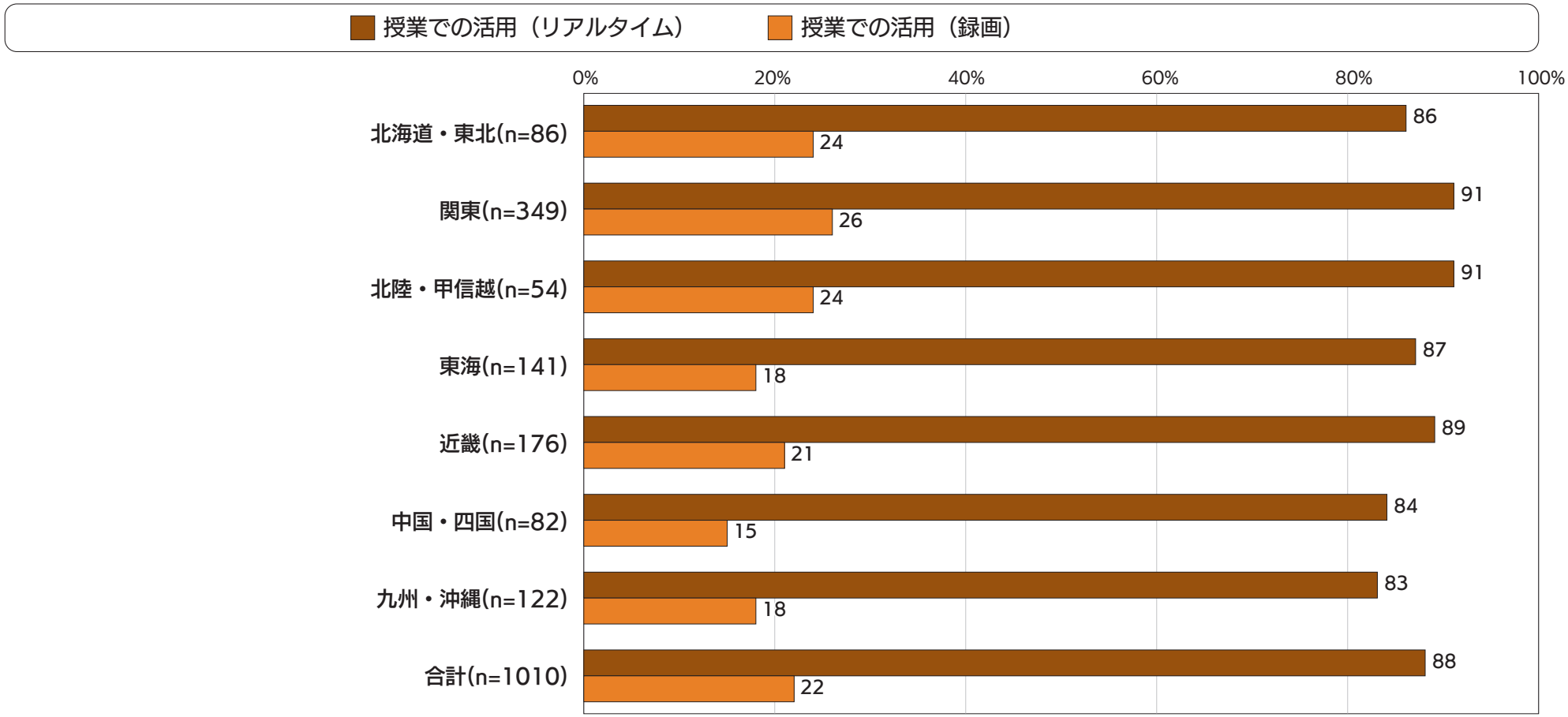


注：小中学生の保護者が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-50]

学校の中でのタブレット・パソコンの活用状況［地域別］（複数回答）

● 地域間で利用状況には大きな差はない。

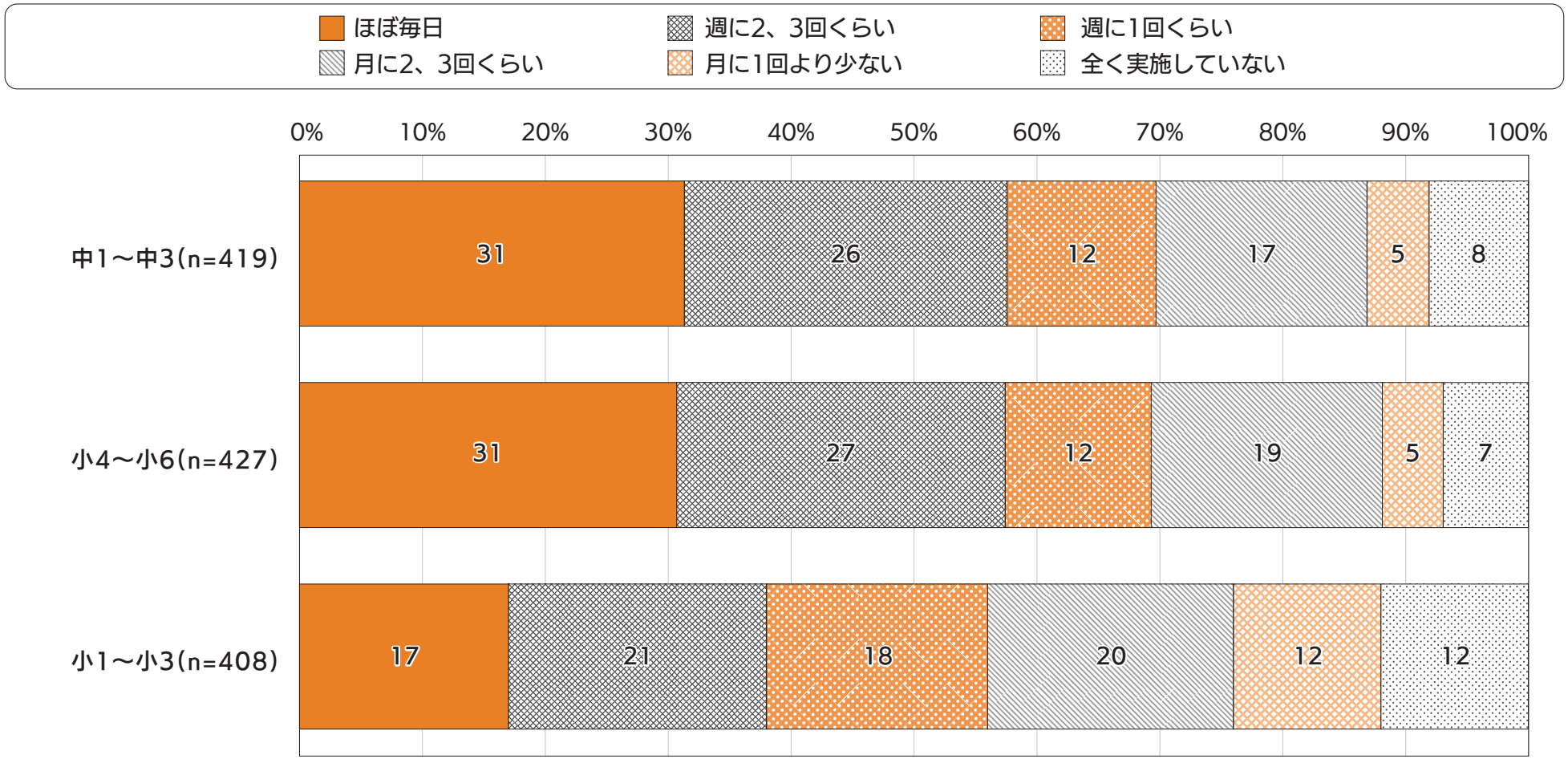


注：小中学生の保護者が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-51]

学校の授業でのタブレット・パソコンの使用頻度[学年別]

● 小学生高学年と中学生は「ほぼ毎日」が約3割、週に1回以上実施で約7割。

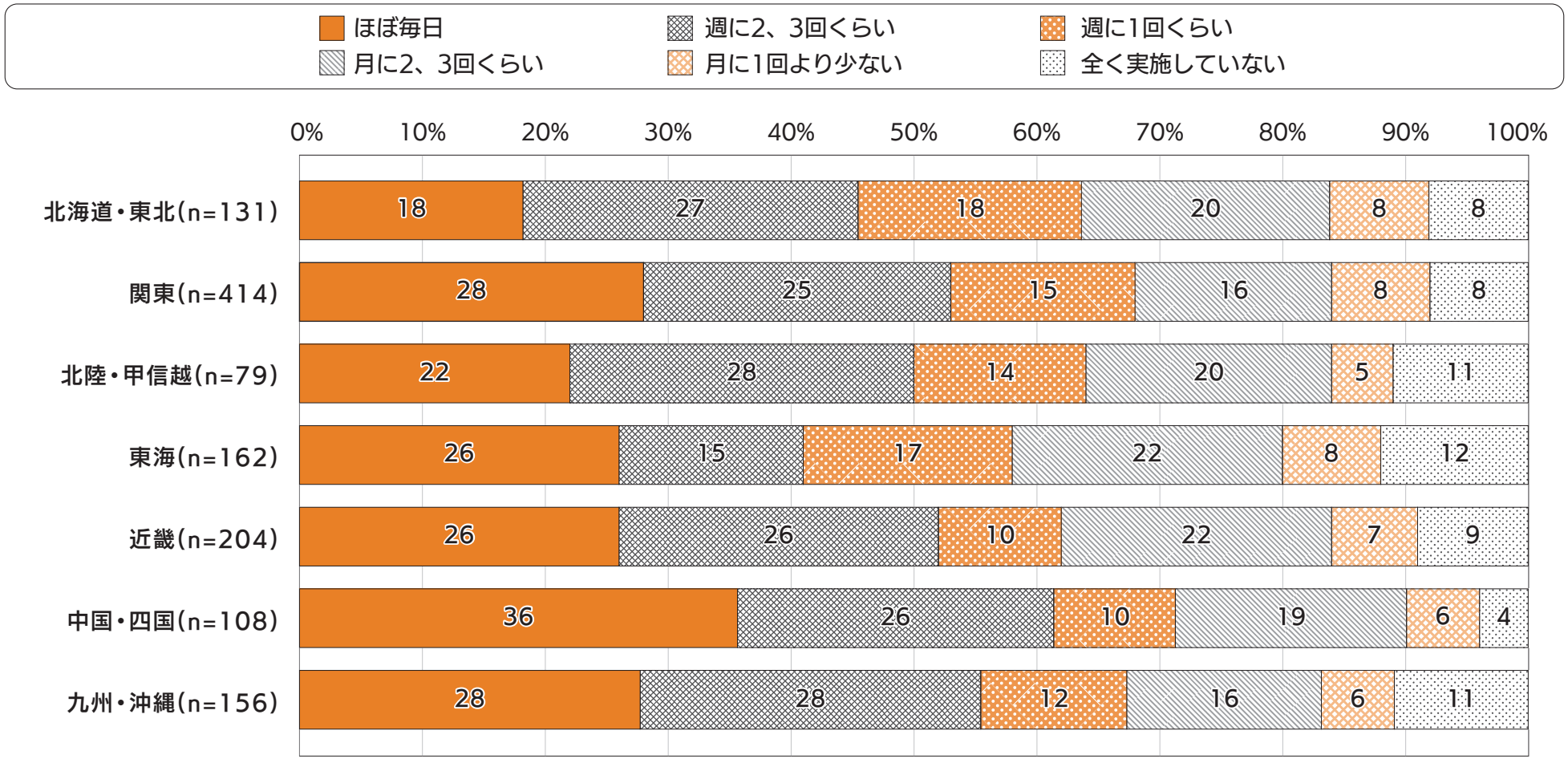


注：小中学生の保護者が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-52]

学校の授業でのタブレット・パソコンの使用頻度[地域別]

● 中国・四国の実施頻度が最も高い。

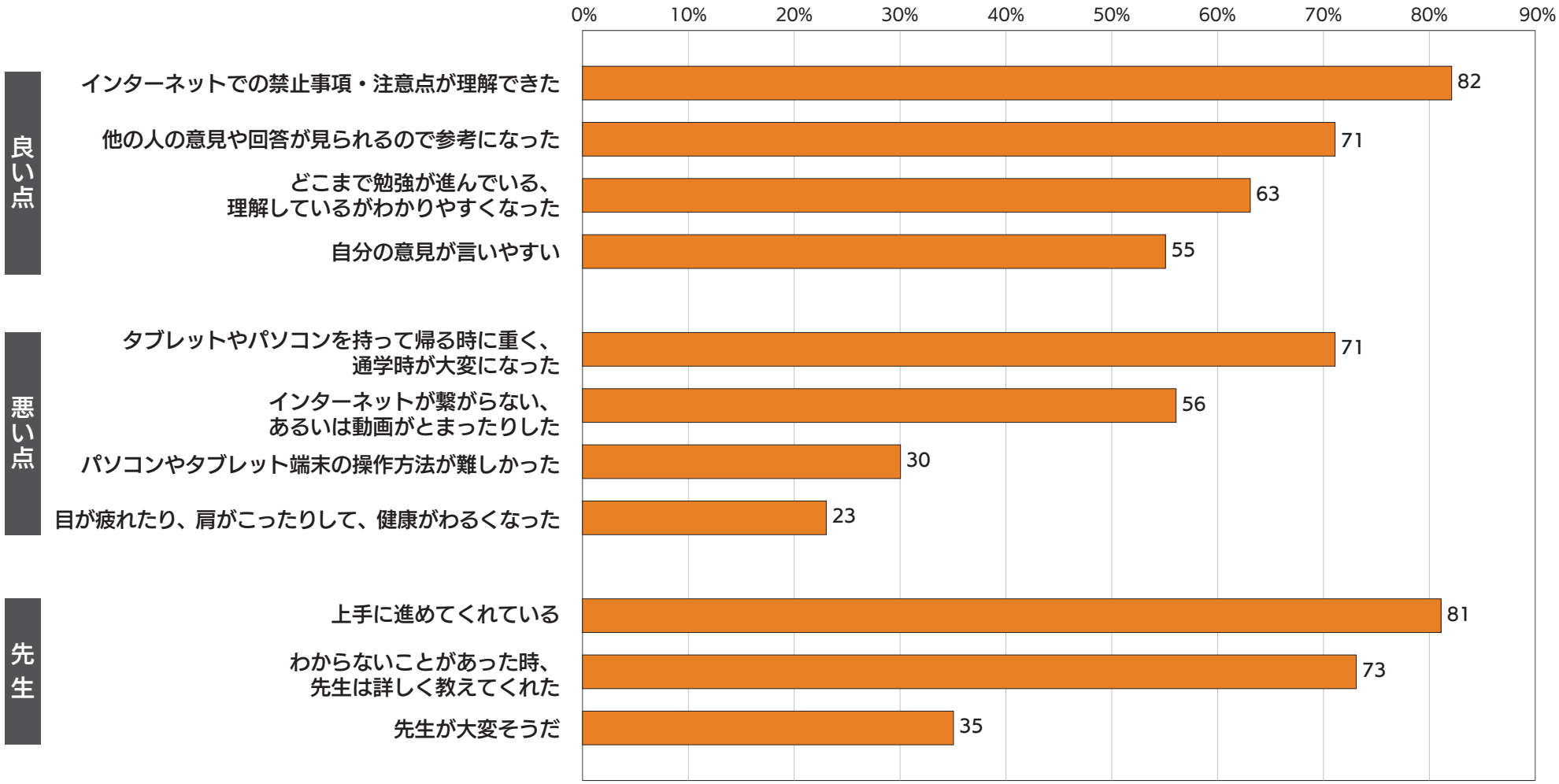


注：小中学生の保護者が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-53]

パソコンやタブレットを使った授業への評価（複数回答）

- 良い点トップ「インターネットでの禁止事項・注意点が理解できた」が約8割。
- 悪い点トップ「タブレットやパソコンを持って帰るときに重く、通学時が大変になった」約7割。
- 先生については、「上手に進めてくれている」、「わからないときに詳しく教えてくれた」が7〜8割と高評価。

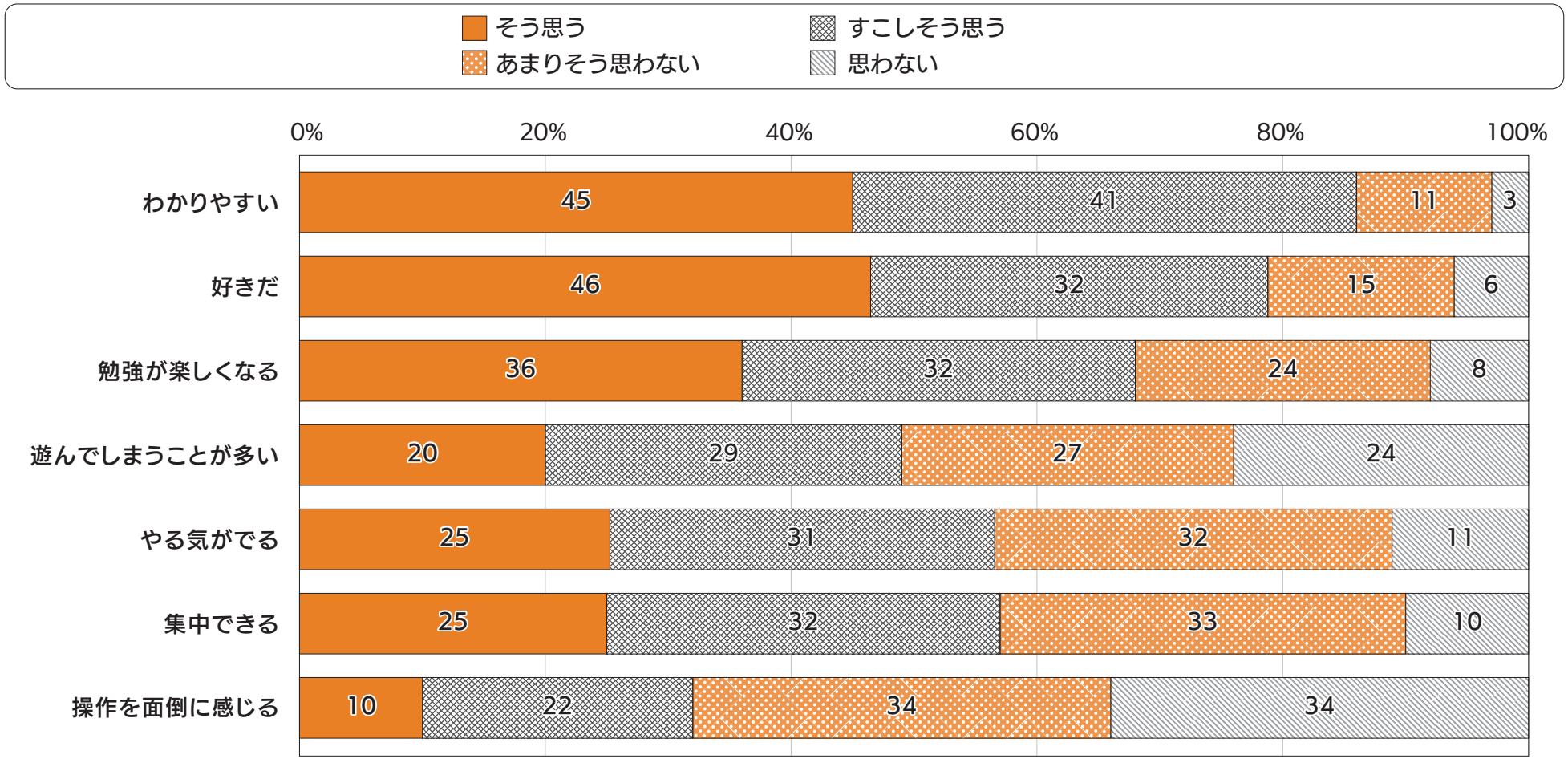


注：小中学生自身が回答。パソコンやタブレットを使った授業を実施したことがある 1232 名が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）

[資料7-54]

パソコンやタブレット、スマートフォンを使った勉強の感想（単一回答）

- 「わかりやすい」9割弱、「好きだ」8割弱、「勉強が楽しくなる」7割弱。
- 一方、「遊んでしまうことが多い」が5割弱。



注：小中学が回答。パソコンやタブレット、スマートフォンを使った勉強を実施したことがある 1204 名が回答。
出典：2024 年子どものケータイ利用に関する調査（訪問留置）